

北海道議会時報

平成9年第1回臨時会

平成9年第2回定例会



北海道議会事務局

(表紙写真)

道の駅（上湧別町・中湧別）

汽車や電車に駅があるように、道路にも、立ち寄って心とからだをリフレッシュさせる駅があったら、という考えから生まれたのが道の駅です。

道の駅は駐車場やトイレなどの休息施設と、自治体などが設置する物産館、博物館などの地域の特色ある施設を一体的に整備し、道路を利用する方々が休憩しやすいよう、質の向上が図られ、地域のにぎわいの場として地域振興に寄与する多機能型の施設です。紋別郡上湧別町字中湧別の道の駅は、平成5年に認定を受けた駅で、文化センター TOM の中にあり、漫画美術館、図書館、多目的ホールなど多様な文化施設があります。

特に、漫画美術館は世界的なオホーツク国際漫画大賞の入選作品や活躍中の漫画家による作品・漫画グッズ、漫画家が愛用した道具など数多く展示しています。映像で楽しめる漫画情報コーナーでは、ボタンひとつで有名な漫画家の代表作品が検索でき、自由に描ける漫画アトリエもあり、楽しむことができます。

近くには、チューリップ公園があり5月上旬から5月下旬にかけ町の花でもあるチューリップが100万本のスケールで咲き乱れます。総面積50,000㎡の花壇にはオックスフォード、メリーウィドーなど珍しい品種を含めて約70種ものチューリップが咲き、心を和ませます。

(上湧別町提供)



議 長 岩 本 允

就 任 の あ い さ つ

一言ごあいさつを申し上げます。

ただいまの選挙によりまして、皆様方の御推挙により議長の重責を担うことになりましたことは、私にとりましても身に余る光栄であり、その職責の重大さを痛感している次第であります。

ここに謹んでお受けいたします。

今日、道民の道議会に対する期待と関心は大なるものがあります。今後は、当面する道政上の諸課題に適切に対処いたしますとともに、議会の公正・円滑な運営に全力を挙げ、道民の期待と信頼に答えるべく最善の努力をしてまいる決意であります。

就任に際し、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げて、簡単ではございますが、ごあいさつといたします。

(6月24日の本会議場において)



副議長 神 本 三 也

就 任 の あ い さ つ

ただいまの選挙におきまして、皆様のご推挙により副議長の重責を担うことになりました。

まことに光栄に存じ、ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに道政の進展と議会の円滑な運営のために最善の努力を尽くす決意でございます。

皆様方の格別な御指導と御協力を心からお願い申し上げて、ごあいさついたします。

(6月24日の本会議場において)

第 1 回 臨 時 会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	3
会 議 案	4

第 2 回 定 例 会

概 要	5
本 会 議	7
提 出 案 件	19
決 議	22
意 見 書	22
請 願 ・ 陳 情	28

委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	30
常 任 委 員 会	36
特 別 委 員 会	46
総合開発調査特別委員会	
産炭地域振興対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
地方分権・行政改革問題調査特別委員会	
北海道部設置条例審査特別委員会	50

資 料

北海道議会議席表	61
----------	----

5 ・ 6 ・ 7 月 の メ モ

注 企業会計決算特別委員会（終了後一括掲載）

議 会 日 誌

▶ 4 月

- 9 日(水) } 北海道部設置条例審査特別委員会
- 10 日(木) }
- 17 日(木) } 北海道部設置条例審査特別委員会
- 18 日(金) }
- 21 日(月) } 北海道部設置条例審査特別委員会
- 22 日(火) }
- 23 日(水) }

23 日(月)

24 日(火)

本会議（議席の一部変更、会期決定〈18日間〉、提案説明、先議案件 2 件〈副知事及び出納長各選任同意〉議決）

議会運営委員会

本会議（日程延期）

議会運営委員会

本会議（正副議長の辞任許可及び選挙）

25 日(水)

議会運営委員会

本会議（議席の一部変更、各常任、議会運営・特別各委員選任）

各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会

本会議（意見案 1 件可決、一般質問〈1 人〉）

26 日(木)

議会運営委員会

本会議（日程延期）

27 日(金)

議会運営委員会

本会議（一般質問〈2 人〉）

30 日(月)

議会運営委員会

本会議（日程延期）

▶ 5 月

- 6 日(火) 各常任委員会
- 7 日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会
- 8 日(木) 北海道部設置条例審査特別委員会
（知事総括質疑、意見調整、議了）
- 9 日(金) 議会運営委員会
- 16 日(金) （第 1 回臨時会開会・閉会）
議会運営委員会
本会議（会期決定〈1 日間〉、前会より継続審査の議案第 100 号〈北海道部設置条例の一部を改正する条例案〉修正議決、会議案 1 件可決）
- 29 日(木) 総務委員会

▶ 6 月

- 3 日(火) 各常任委員会
- 4 日(水) 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会
- 10 日(火) 議会運営委員会
- 16 日(月) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会
- 17 日(火) （第 2 回定例会開会）
議会運営委員会

▶ 7 月

- 1 日(火) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈5 人〉）
- 2 日(水) 議会運営、水産林務各委員会
本会議（追加提案説明、一般質問〈2 人〉）
- 3 日(木) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈6 人〉）
- 4 日(金) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈4 人〉、企業会計決算特別委員会設置）
各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別各委員会
企業会計決算特別委員会（正副委員

長の互選)

本会議（各委員長報告、議案等可決、追加提案説明、公安委員会委員及び監査委員の選任同意、議案第30号〈国土利用計画（北海道計画）の変更に関する件・継続審査〉、苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の各補欠選挙、決議案1件可決、意見案5件可決、報告第33号ないし第36号の閉会中継続審査の決定）

（第2回定例会閉会）

第1回臨時会

北海道部設置条例の一部を改正する条例を修正議決

▶北海道議会委員会条例の一部を改正◀

概 要

- ① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案等を審議する第1回臨時会が、5月16日招集され、会議録署名議員の指定を行い、会期を5月16日の1日間と決定。その後、前会より継続審査の北海道部設置条例の一部を改正する条例案について、北海道部設置条例審査特別委員長から報告があり、討論、採決の結果、修正議決。

次に、北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案について、提案説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、異論なく原案可決。

付議された案件をすべて議了し、閉会した。

- ② 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提出者	提出件数	議決の状況			計
		原案可決	修正議決	報告のみ	
知 事	1	0	(1)	1	1(1)
議 員	1	1	—	—	1
計	2	1	(1)	1	2(1)

注 () 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

本 会 議

○ 5 月 16 日 (金) 午前 10 時 31 分開議、中川義雄議長、平成 9 年第 1 回臨時会の開会を宣し、

日程第 1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第 2 会期決定の件を議題とし、今臨時会の会期を 5 月 16 日の 1 日間と決定。

日程第 3 前会より継続審査の議案第 100 号を議題とし、北海道部設置条例審査特別委員長から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から委員会審査結果（修正議決）に関する反対討論があつて討論終結。採決に入り、起立採決の結果、起立多数により委員長報告のとおり修正議決（共産反対）。

会議案第 1 号の提出があつた旨の報告の後、本件を直ちに議題とすることに決定。

追加日程 会議案第 1 号（北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案）を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上採決に入り、異議なく原案のとおり可決し、午前 10 時 50 分閉会。

第1回臨時会において知事から提出のあった案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
5. 16	1	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成9年4月24日3件、平成9年4月30日2件、平成9年5月6日2件、平成9年5月7日9件）			報告のみ

前会から継続審査中の案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
3. 12	100	北海道部設置条例の一部を改正する条例案	北海道部 設置条例 審査特別	5. 16	修正議決

第1回臨時会において議員から提出のあった案件

会 議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
5. 16	1	北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案		5. 16	原案可決

会 議 案

会議案第1号 北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案

〔平成9年1臨
高橋一史議員ほか13人提出
平成9年5月16日 原案可決〕

北海道議会委員会条例の一部を改正する条例

北海道議会委員会条例（昭和31年北海道条例第61号）の一部を次のように改正する。

第2条第1号中「企画振興部」を「総合企画部」に改め、同条第2号及び第3号を次のように改める。

2 環境生活委員会 13人
環境生活部に関する事項

3 保健福祉委員会 14人
保健福祉部に関する事項

第2条第4号中「商工労働観光委員会」を「経済委員会」、「商工労働観光部」を「経済部」に改め、同条第6号を削り、同条第7号中「水産部、林務部」を「水産林務部」に改め、同号を同条第6号とし、同号の次に次の1号を加える。

7 建設委員会 14人
建設部及び収用委員会に関する事項

附 則

- 1 この条例は、北海道部設置条例の一部を改正する条例（平成 年北海道条例第 号）の施行の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の北海道議会委員会条例（以下「旧条例」という。）の規定に基づき生活福祉委員会の委員に選任されている者は、この条例による改正後の北海道議会委員会条例（以下「新条例」という。）の規定に基づく保健福祉委員会の委員として、旧条例の規定に基づき保健環境委員会の委員に選任されている者は、新条例の規定に基づく環境生活委員会の委員として引き続き在任するものとし、その任期は、旧条例に基づく委員会の委員の残任期間とする。
- 3 この条例の施行の際、現に旧条例の規定に基づく常任委員会で継続して審査し、又は調査している請願、陳情及び事務調査事件は、新条例の規定に基づき所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

説 明

北海道部設置条例の一部改正に伴い、常任委員会の名称及び所管を変更し、併せて必要な措置を講ずるため、この条例を制定しようとするものである。

第2回定例会

議長に岩本允議員（自民）、副議長に神本三也議員（民主）を選出

▶北海道開発体制機能の維持充実にに関する意見案を可決◀

概 要

- ① 常任委員の改選等が予定された第2回定例会は、6月17日招集され、議席の一部変更、会議録署名議員の指定を行い、会期を7月4日までの18日間と決定した後、条例案、人事案件等の議案が上程され、提出案件に関する知事の説明。そのうち、副知事及び出納長の人事案件について先議し、いずれも原案のとおり同意議決。議案調査のため、6月18日から6月20日まで休会することに決定した。
- ② 6月24日、中川義雄議長（自民）の辞職許可の後、議長選挙を行い、岩本允議員（自民）が当選、引き続き、小田原要四蔵副議長（民主）の辞職許可の後、副議長選挙を行い、神本三也議員（民主）が当選した。
- ③ 6月25日、議席の一部を変更し、各常任委員及び議会運営委員並びに総合開発調査、産炭地域振興対策、北方領土対策、エネルギー問題調査、交通安全対策及び地方分権・行政改革問題調査の各特別委員をそれぞれ議長指名により選任した。一旦本会議を休憩し、各委員会において正副委員長との互選等を行った後、本会議を再開し、北海道開発体制機能の維持充実にに関する意見案を異義なく原案可決して一般質問に入ったが、主任制問題に係る質問で審議が中断、そのまま延会した。
- ④ 6月27日、審議は再開されたが、住宅供給公社問題で再び審議が中断、延会となった。
- ⑤ 7月1日に審議再開し、一般質問を継続。
- ⑥ 7月2日、平成8年度病院事業会計決算に関する件ほか4件の追加提案があり、知事から提案説明。引き続き一般質問を継続。
- ⑦ 会期最終日の7月4日、一般質問を終結し、企業会計決算特別委員会を設置。議案等を各委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため休憩に入った。再開後、各付託議案に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、公安委員会委員及び監査委員の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後、採決の結果、同意議決。

次に、国土利用計画（北海道計画）の変更に関する件が追加提案され、北海道総合開発計画に関する道意見案調査の件とともに議題とし、知事から提案説明等があり、国土利用計画（北海道計画）の変更に関する件は総合開発調査特別委員会に付託し閉会中継続審査、北海道総合開発計画に関する道意見案調査の件も総合開発調査特別委員会に付託し、議会において調査終了を議決するまで継続調査を行うことに決定。

次に、苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙を行い、指名推選の方法をもって、議長指名により選出された。

次に、北海道国際航空株式会社に対する支援に関する決議案を、討論、採決の結果、原案可決。

次に、道路特定財源堅持等に関する意見案ほか4件の意見案を、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

平成8年度各事業会計決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、開会以来18日目の7月4日に閉会した。

- ⑧ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況				計
		原案可決	同意議決	報告のみ	継続審査	
知 事	66	25	4	32	5	66
議 員	7	7	—	—	—	7
計	73	32	4	32	5	73

本 会 議

○6月17日(火) 午後2時44分開議、中川義雄議長、平成9年第2回定例会の開会を宣し、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、議席の一部を配付議席表のとおり変更することを異議なく決定。

日程第2 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月4日までの18日間と決定。

日程第4 議案第1号ないし第27号を議題とし、知事から提出議案について説明。

日程第4のうち、議案第26号及び第27号を先議することについて異議なく決定の後、委員会付託を省略の上討論に入り、萩原信宏議員（共産）から議案第26号に関する反対討論があつて討論終結。採決に入り、まず議案第26号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり同意議決（共産反対）。次に議案第27号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。

議案調査のため、6月18日から6月20日まで休会することに決定して、午後2時55分散会。

○6月23日(月) 午後4時45分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、午後4時46分休憩。午後6時41分再開し、諸般の報告の後、議事の都合により午後6時42分延会。

○6月24日(火) 午後零時4分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午後零時5分休憩。午後4時24分再開し、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、午後4時25分休憩。午後5時37分再開し、諸般の報告の後、副議長と交代し、

追加日程 議長辞職の件を議題とし、中川義雄議長の辞職を許可することを異議なく決定。

追加日程 議長選挙に入り、議場を閉鎖、立会人に釣部勲議員（自民）、吉田栄議員（民主）、風早俊男議員（21'道民）、吉田恵悦議員（公明）、上田茂議員（新道政）を指名。選挙の方法は単記無記名投票で行い、点呼に応じて順次投票。開票の結果、投票総数108票、有効投票104票、白票4票、有効投票中、岩本允議員（自民）97票、川村

正議員（自民）4票、中川隆之議員（自民）3票で、岩本允議員が議長に当選。議場の閉鎖を解き、議長から就任のあいさつ。

追加日程 副議長辞職の件を議題とし、小田原要四蔵副議長の辞職を許可することを異議なく決定。

追加日程 副議長選挙に入り、議長選挙と同様に取り進め、開票の結果、投票総数108票、有効投票106票、白票2票、有効投票中、神本三也議員（民主）104票、大平盛雄議員（民主）1票、柏倉勝雄議員（民主）1票で、神本三也議員が副議長に当選。議場の閉鎖を解き、副議長から就任のあいさつがあつて、午後6時49分延会。

○6月25日(水) 午前10時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、議席の一部を配付議席表のとおり変更することを異議なく決定。

日程第2 常任委員の選任を行い、議長指名により、配付名簿のとおり次の委員を選任。

○総務委員（14人）

船橋 利実（自民）	沢岡 信広（民主）
段坂 繁美（民主）	伊藤 条一（自民）
加藤 和久（自民）	野呂 善市（自民）
水野 重男（21'道民）	木村 澄男（新道政）
大内 良一（民主）	青木 延男（民主）
伊藤 武一（公明）	湯佐 利夫（自民）
中川 義雄（自民）	中崎 昭一（自民）

○環境生活委員（12人）

蝦名 清悦（民主）	鎌田 公浩（自民）
本間 勲（自民）	小原 葉子（民主）
清水 誠一（自民）	神戸 典臣（自民）
勝木 省三（自民）	鯉谷 忠（民主）
長沢 徹（民主）	渋谷 澄夫（新道政）
小田原要四蔵（民主）	若狭 靖（自民）

○保健福祉委員（13人）

野村 義次（自民）	水城 義幸（自民）
山田麟太郎（新道政）	林 大記（民主）
山口 恵聖（民主）	高橋 定敏（自民）
釣部 勲（自民）	伊達 忠一（自民）
吉田 恵悦（公明）	佐々木隆博（民主）
吉野 之雄（民主）	輪島 幸雄（民主）
藤井 猛（自民）	

○経済委員（14人）

丸岩 公充 (自民)	滝口 信喜 (民主)
萩原 信宏 (共産)	高橋由紀雄 (民主)
森 成之 (公明)	川村 正 (自民)
高橋 一史 (自民)	風早 俊男 (21'道民)
井野 厚 (民主)	柏倉 勝雄 (民主)
石川十四夫 (新道政)	山口 真人 (自民)
川口 常人 (自民)	岩本 允 (自民)

○農政委員 (14人)

岡田 俊之 (民主)	瀬能 晃 (新道政)
工藤 敏郎 (自民)	竹内 英順 (自民)
村井 宣夫 (21'道民)	政氏 雅 (公明)
平出 陽子 (民主)	米沢 一喜 (自民)
石井 孝一 (自民)	佐藤 時雄 (自民)
小野寺 勇 (自民)	土田 弘 (民主)
神本 三也 (民主)	吉田 政一 (自民)

○水産林務委員 (13人)

伊東 良孝 (自民)	西田 昭紘 (民主)
岡本 修 (民主)	川尻 秀之 (自民)
永井 利幸 (自民)	酒井 芳秀 (自民)
小池 昌 (民主)	大橋 晃 (共産)
橋 浪蔵 (改革)	大島 一郎 (民主)
西村 慎一 (21'道民)	中川 隆之 (自民)
新沼 浩 (自民)	

○建設委員 (14人)

荒島 仁 (公明)	佐藤 寿雄 (自民)
見延 順章 (自民)	前田 康吉 (新道政)
星野 高志 (民主)	伊藤 政信 (民主)
板谷 實 (21'道民)	山崎 正隆 (自民)
高橋 文明 (自民)	森 敏捷 (民主)
舟山 広治 (民主)	畠山 博 (自民)
久田 恭弘 (自民)	高木 繁光 (自民)

○文教委員 (14人)

佐藤 英道 (公明)	大裕 和則 (21'道民)
加藤 礼一 (自民)	喜多 龍一 (自民)
原田 裕 (自民)	上田 茂 (新道政)
山口幸太郎 (自民)	和田 敬友 (自民)
吉田 栄 (民主)	鈴木 泰行 (民主)
西本 美嗣 (民主)	大平 盛雄 (民主)
桜井 外治 (自民)	平野 明彦 (自民)

日程第3 議会運営委員の選任を行い、議長指名により、配付別紙のとおり次の委員を選任。

○議会運営委員 (14人)

加藤 礼一 (自民)	竹内 英順 (自民)
丸岩 公充 (自民)	水城 義幸 (自民)
村井 宣夫 (21'道民)	政氏 雅 (公明)

沢岡 信広 (民主)	西田 昭紘 (民主)
岡本 修 (民主)	上田 茂 (新道政)
伊藤 条一 (自民)	高橋 定敏 (自民)
和田 敬友 (自民)	吉田 栄 (民主)

日程第4 特別委員の選任を行い、議長指名により、配付別紙のとおり次の委員を選任。

○総合開発調査特別委員 (23人)

瀬能 晃 (新道政)	荒島 仁 (公明)
竹内 英順 (自民)	原田 裕 (自民)
沢岡 信広 (民主)	伊藤 政信 (民主)
段坂 繁美 (民主)	石井 孝一 (自民)
川尻 秀之 (自民)	清水 誠一 (自民)
佐藤 時雄 (自民)	和田 敬友 (自民)
鯉谷 忠 (民主)	佐々木隆博 (民主)
西本 美嗣 (民主)	大橋 晃 (共産)
大平 盛雄 (民主)	柏倉 勝雄 (民主)
西村 慎一 (21'道民)	湯佐 利夫 (自民)
久田 恭弘 (自民)	川口 常人 (自民)
新沼 浩 (自民)	

○産炭地域振興対策特別委員 (13人)

伊東 良孝 (自民)	丸岩 公充 (自民)
村井 宣夫 (21'道民)	西田 昭紘 (民主)
高橋由紀雄 (民主)	伊藤 条一 (自民)
釣部 勲 (自民)	野呂 善市 (自民)
小野寺 勇 (自民)	吉田 恵悦 (公明)
長沢 徹 (民主)	大島 一郎 (民主)
石川十四夫 (新道政)	

○北方領土対策特別委員 (13人)

蝦名 清悦 (民主)	大裕 和則 (21'道民)
喜多 龍一 (自民)	船橋 利実 (自民)
小原 葉子 (民主)	上田 茂 (新道政)
高橋 定敏 (自民)	伊達 忠一 (自民)
勝木 省三 (自民)	小池 昌 (民主)
舟山 広治 (民主)	伊藤 武一 (公明)
若狭 靖 (自民)	

○エネルギー問題調査特別委員 (17人)

加藤 礼一 (自民)	鎌田 公浩 (自民)
水城 義幸 (自民)	政氏 雅 (公明)
星野 高志 (民主)	岡本 修 (民主)
山口 恵聖 (民主)	山口幸太郎 (自民)
高橋 文明 (自民)	風早 俊男 (21'道民)
木村 澄男 (新道政)	鈴木 泰行 (民主)
小田原要四蔵 (民主)	吉野 之雄 (民主)
畠山 博 (自民)	中川 隆之 (自民)
高木 繁光 (自民)	

○交通安全対策特別委員（15人）

佐藤 英道（公明）	工藤 敏郎（自民）
野村 義次（自民）	見延 順章（自民）
山田驍太郎（新道政）	林 大記（民主）
板谷 實（21'道民）	米沢 一喜（自民）
山崎 正隆（自民）	高橋 一史（自民）
吉田 栄（民主）	土田 弘（民主）
森 敏捷（民主）	輪島 幸雄（民主）
桜井 外治（自民）	

○地方分権・行政改革問題調査特別委員（19人）

岡田 俊之（民主）	佐藤 寿雄（自民）
本間 勲（自民）	前田 康吉（新道政）
滝口 信喜（民主）	萩原 信宏（共産）
平出 陽子（民主）	森 成之（公明）
加藤 和久（自民）	川村 正（自民）
神戸 典臣（自民）	永井 利幸（自民）
酒井 芳秀（自民）	水野 重男（21'道民）
井野 厚（民主）	大内 良一（民主）
青木 延男（民主）	中川 義雄（自民）
藤井 猛（自民）	

日程第5 陳情第29号を議題とし、本件を交通安全対策特別委員会に付託することを異議なく決定して、議事進行の都合により午前10時35分休憩。午後3時34分再開し、諸般の報告の後、

追加日程 意見案第1号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上採決に入り、異議なく原案のとおり可決。

日程第6 議案第1号ないし第25号を議題とし、一般質問に入り、

釣部 勲議員（自民）から、

1 農業の振興について

- ・農業基盤整備事業についての認識と今後の展開
- ・農道整備事業についての認識と今後の整備のあり方についての見解
- ・国の財政構造改革会議による農業予算削減決定が北海道農業に及ぼす影響とその対処
- ・米を貯蔵するための低温倉庫の整備状況とその積極的整備に対する見解
- ・農業担い手支援の金融対策に係る検討状況及び残されている検討課題並びにその検討のスケジュール
- ・農業担い手支援対策としてのリフレッシュ資金の本年度実施に対する見解

2 石炭問題について

- ・太平洋炭鉱の存続についての考え
- ・炭鉱存続に向けた取組みについての考え
- ・空知地域振興基本構想実現のための取組みと支援
- ・空知及び釧路の両産炭地域総合発展機構のこれまでの事業の推進状況と今後の在り方についての考え

3 教育行政について

- ・校長の権限に対する見解
- ・主任制問題を解決するための協議メンバー及びその協議の経過と結果並びに教委連と校長会の理解の有無
- ・文部省等の理解を得られる主任制問題の解決策に向けた努力
- ・主任制問題の解決時期
- ・都府県の主任制の実施状況及びその参考となる点
- ・保健主事の命課対象拡大への対応

等について質問があり、知事、経済部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。教育長から答弁準備に時間を要する旨の発言があり、午後4時32分休憩。午後4時33分再開し、議事の都合により午後4時34分延会。

○6月26日（休） 午前10時30分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午前10時31分休憩。午後4時1分再開し、議事の都合により午後4時2分延会。

○6月27日（金） 午前10時16分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午前10時17分休憩。午後2時36分再開し、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、一般質問を継続。教育長から、6月25日の釣部勲議員（自民）の再質問に対する答弁、同議員から発言。

高橋 由紀雄議員（民主）から、

1 国の行政改革会議について

- ・中央省庁再編についての認識及び北海道開発庁が果たしてきた役割に対する評価
- ・国の本道開発に係る機構と道との融合に対する見解

2 国の財政構造改革会議について

- ・財政構造改革における公共事業の削減についての認識及び本道の産業経済に及ぼす影響
- ・国の財政構造改革の推進による平成10年度の

道予算編成への影響

- ・開発予算要望のあり方に対する見解
- ・国の財政構造改革と第3次長期総合計画との関連
- ・北海道新幹線に係る国の動向についての認識及び従来の運動の変化の有無
- ・ITER 誘致関連予算の再検討の対応
- ・ウルグアイ・ラウンド関連対策に係る政府方針の把握とその見解
- ・ウルグアイ・ラウンド関連対策に係る政府方針の影響への対処
- ・国の来年度概算予算編成に向けての農業農村整備事業要請活動の重点
- ・新農業基本法の中への直接所得補償政策という考え方の位置付け

3 広域行政について

- ・広域行政推進の今日的意義についての考え
- ・広域行政の新しい取組み及び広域行政を推進する上での問題点
- ・広域行政を推進するに当たって道の果たす役割並びにその具体的指導及び支援策

4 ダイオキシン問題について

- ・ダイオキシンに対する認識及びダイオキシン濃度の基準値を超えている市町村に対する指導内容とその施設の改善状況
- ・法改正を踏まえた市町村に対する強力な指導の対応
- ・道独自の指導指針を策定することに対する見解
- ・国の助成措置拡充を求めること及び広域的な施設整備の取組みを行うことに対する所見
- ・産業廃棄物焼却施設の調査の実施

等について質問があり、知事及び環境生活部長から答弁。

加藤 礼一議員（自民）から、

1 サハリン大陸棚石油・天然ガス開発プロジェクトについて

- ・サハリン沖の資源開発についての基本的な認識
- ・道内への経済波及効果
- ・参入する道内企業や後方支援機能を担おうとする各自治体に対する支援
- ・道ユジノサハリンスク事務所機能の充実
- ・ロシア極東地域との経済強力プログラム改正とこの開発事業との関係
- ・天然ガスパイプライン構想に対する認識及び

電力会社の動向の注視並びに計画が本格化した場合の北海道における影響と問題点に対する検討

2 住宅供給公社問題と運営について

- ・住宅供給公社に対する基本的な認識
 - ・平成8年度住宅建設の当初計画の変更と多数戸数の実施繰り越しの理由及び平成9年度計画の達成見込み
 - ・同公社に対する指導、助成内容
 - ・今回の分譲マンションに絡んでの事件の事実関係の把握状況及び同公社側からの報告内容
 - ・高価な分譲住宅を建設することの是非及び公社に対する指導
 - ・値引き販売を決定した理由と経緯及びその内容、値引き販売ができる特別な事情の内容とお客への値引き周知方法、契約手続き及び金銭の流れ
 - ・販売委託業者の選定対象数と実際に委託契約した社数及び販売委託業者の選定基準並びに不動産業者と取り交わした販売斡旋業務の委託契約内容
 - ・割賦返済金の滞納等に対する認識とこれまで講じてきた対策
 - ・今後の公社に対する指導についての考え
 - ・今回の同住宅供給公社に係る一連の事件に対する監査委員の考え方
- ### 3 道財政と金融機関との関係について
- ・第一勧業銀行における道の資金運用の実態と地方債の引受けの状況
 - ・道としての今後の対応

等について質問があり、知事、経済部長及び代表監査委員から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備に時間を要する旨発言があり、午後4時18分休憩。午後4時19分再開し、議事の都合により午後4時20分延会。

○6月30日(月) 午後2時35分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午後2時36分休憩。午後4時50分再開し、議事の都合により午後4時51分延会。

○7月1日(火) 午前11時開議、諸般の報告の後、
日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、一般質問を継続。知事、建設部長及び代表監査委員から、6月27日の加藤礼一議員（自民）の再質問に対する答弁。同議員から再々質問、知事から

答弁。議長から会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。

沢岡 信広議員（民主）から、

- 1 ポリオ（小児マヒ）ワクチン追加接種問題について
 - ・道民の不安を解消するための情報提供、関係医師会との連携、医療機関確保の取組み
 - ・追加接種の決定過程やその有効性、安全性に対する国の見解と道の認識
 - ・追加接種費用の自己負担問題への対応
 - ・健康被害が生じた場合の救済措置についての見解
- 2 RDF 発電について
 - ・一般廃棄物の RDF 化に対する認識
 - ・RDF 発電に対する認識
 - ・RDF 発電の公営事業化に対する見解
 - ・事業化に向けた決意
- 3 難聴・聴覚障害児の通級指導等について
 - ・通級指導教室の設置状況並びに聴覚に障害のある幼児及び児童生徒数の在籍状況
 - ・通級指導教室の配置教員についての要望状況及びその対応
 - ・担当教員の研修等による資質の向上についての見解

等について質問があり、知事、保健福祉部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時55分休憩。午後1時29分再開し、

原田 裕議員（自民）から、

- 1 第三次北海道長期総合計画について
 - ・計画内容全般にわたる見直しの必要性の有無
 - ・公共事業削減率の見込み
 - ・本道産業構造の方向性についての考え及び道内産業別総生産、産業別就業者数、総人口等指標の見込み
 - ・農業基盤、道路、河川等の指標に対する影響
 - ・計画策定期間の再検討の必要性
 - ・戦略プロジェクトに係る関係団体や市町村などとの協議結果及びその協議結果の基本計画案への盛り込み
 - ・新全国総合開発計画における基本的考え方の受止め及び道計画への盛り込み
 - ・道の計画における地域連携軸の形成等に対する見解
- 2 野生化した帰化動物対策について
 - ・アライグマの実態調査の実施、有効な手立て

の構築

- ・野生動物の保護という観点からの帰化動物に対する認識
- ・危険動物飼養規制条例に基づく危険動物指定種の見直しについての考え

等について質問があり、知事及び環境生活部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

本間 勲議員（自民）から、

- 1 第三次北海道長期総合計画などについて
 - ・総合開発委員会の要望意見への対処
 - ・地域格差拡大の反省と格差解消の手立て
 - ・計画全体について指標項目を見直すことに対する見解
 - ・農業振興のための具体的施策
 - ・都市と農山漁村に区分した生活排水施設総合普及率の現状と目標及び農山村における合併浄化槽の普及率
 - ・道通産局の北海道産業政策との整合性
 - ・公共事業予算の削減による北海道経済への影響及び北海道新幹線の実現に向けた今後の取り組み並びに来年度開発予算要求の方針
 - ・集中改革期間の設定、数値目標を設定した財政健全化計画の策定についての考え
 - ・来年度予算編成についての認識と厳しい編成作業への対処
 - ・事務事業への点検
 - ・市町村の合併についての認識及び市町村からの合併相談を受け止める体制の確立
- 2 道行財政改革の実施方針について
 - ・道政スポンサーマンの役割、その創設の時期及び創設の理由
 - ・住民投票制度についての認識及び道議会の意思決定による住民意思の反映に対する見解並びに地方分権時代にふさわしい道民参加の仕組みについての研究テーマ及びその研究時期
 - ・地方自治法改正による外部監査制度の導入に対する評価及び事務局体制のあり方を含めた対応
 - ・自治政策研究センターの機能及び自治研修所との違い
 - ・支庁制度の見直し
- 3 ダイオキシン対策について
 - ・市町村に対する指導内容及び調査がなされていない理由並びに調査実施の見通し
 - ・ごみの固形燃料の焼却に対する考え

- ・ダイオキシンの係る財政支援
- 4 農業・農村振興条例について
- ・本道農業の将来のあるべき姿についての展望
 - ・農業・農村振興推進計画の策定スケジュール
 - ・道立農業大学の創設に対する所見
 - ・新品種や栽培技術の開発など技術力の向上のための試験研究体制の確立に対する所見
- 5 教育問題について
- ・大学の新設支援に対する所見
 - ・放送大学の活用策
 - ・国立青年の家、少年自然の家の地方移管への対処
 - ・中高一貫教育の導入への対処
 - ・公立高校の入試改善策とりまとめの手順

等について質問があり、知事、環境生活部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時29分休憩。午後4時17分再開し、

森 成之議員（公明）から、

- 1 知事の政治姿勢について
- ・公約など残された課題についての認識及びその解決の見通し
 - ・知事のもつ経済活性化ビジョン
 - ・東アジア地域とのソフト面における具体的な交流事業等の展開
- 2 水産問題について
- ・21世紀の新しい北海道漁業・漁村づくりの策定に向けたこれまでの取り組み内容と今後の見通し
 - ・現行の経営安定条例に代わる新しい総合的な漁業振興条例の早期制定に対する所見
- 3 保健福祉問題について
- ・新しい保健医療福祉計画における介護保険制度の導入に対する考え
 - ・新介護保険制度の導入を前提とした取り組み
 - ・精神障害者の保健福祉政策における事業展開の見通し
 - ・道内企業の障害者雇用率達成に向けた取り組み
 - ・障害者雇用支援センター設置についての所見
- 4 環境問題について
- ・環境対策に対する今後の重点的な取り組み
 - ・環境影響評価条例の見直し
 - ・新長期計画における廃棄物処理施設整備の位置付け
 - ・ゴミ焼却施設の設置が国のガイドラインにより困難な状況であることについての認識

- ・道内各自治体が現在進めている廃棄物処理施設の設置申請及び設置計画に対する指導状況
- ・平成11年度以降の道内各自治体における廃棄物処理施設の設置計画に対する指導方針
- ・明年度に向けたダイオキシン対策の重点的な取り組み
- ・ごみ処理に関する市町村の意向を踏まえた広域計画の策定についての所見

等について質問があり、知事及び環境生活部長から答弁。あらかじめ会議時間を延長し、

喜多 龍一議員（自民）から、

- 1 防災対策について
- ・ロシアタンカーの重油流出事故での対応の遅れを教訓とした地域防災計画の見直し
 - ・オイルフェンス、油吸着剤・油処理剤等の防災資機材等の保有状況及び油回収船等の配備状況
 - ・国及び他都府県等の貸出可能な防災資機材等の把握及び有事の際における連携体制
 - ・防災ボランティア活動に関してのナホトカ号油流出事故での反省と今後の課題
 - ・安心ランド北海道の災害版の新機軸を打ち出すことに対する所見
 - ・民間の国内外への人的貢献活動に対する支援、情報の相互提供、ネットワーク化、一元化された窓口の設置、技能を含む要因の登録等の取り組みに対する考え
- 2 第三次北海道長期総合計画基本計画素案について
- ・クリーンランド北海道を高らかに歌い上げることについての所見
 - ・フロンガス回収の行動計画の策定及び早期回収の実現についての考え
 - ・計画素案中に優れた自然そのものを保護し次代に引き継ぐといった観点が欠けていることについての所見
 - ・計画素案に漁場利用の再編という観点を入れること及び実施計画でその具体的な方向、取り組みを示すことについての所見
- 3 農業問題について
- ・地域担い手センターで育てた人材がその地域以外にも就農している現状の認識及びハード面の新規就農者の研修
 - ・デ・カップリング政策に対する所見と今後の対応

等について質問があり、知事及び総務部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後5時31分延会。

○7月2日(水) 午前10時27分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第33号ないし第36号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

日程第1の報告第33号ないし第36号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第25号を一括議題とし、一般質問を継続。

上田 茂議員（新道政）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・北海道開発庁の統廃合問題についての基本的認識
- ・開発庁が廃止された場合の開発体制の確保についての考え
- ・開発庁の存続・統廃合問題に対するスタンス
- ・地方分権に向けた体制整備
- ・今日の道財政の状況についての認識
- ・歳出削減のポイント
- ・歳出削減による本道経済への影響に対する見解

2 産業振興について

- ・北海道企業立地促進条例を活用した最近の企業の立地状況と立地した企業の現状
- ・企業立地の新たな業種の選定の考え方
- ・今後の企業誘致の取組みと今年度の見通し
- ・時代に合致したベンチャービジネスの支援策と今後の取組み
- ・本年度見直しを図った中小企業向け融資制度のさらなる整理の考えの有無
- ・中小企業向け融資制度の利用状況の認識と今後の対応
- ・北海道信用保証協会の取扱状況と今後の対策

等について質問があり、知事及び経済部長から答弁。

伊東 良孝議員（自民）から、

1 北海道開発庁の存続運動について

- ・北海道開発庁が果たしてきた役割や実績の評価
- ・開発庁に対する道内各界の評価
- ・統廃合による本道開発における事業面での影響及び中長期的にみた本道経済に与える影響
- ・統廃合問題に対するこれまでの対応
- ・北海道開発の機能の維持と充実のために想定している組織

- ・開発予算の確保を始めとした機能存続のための取組み

2 札幌医科大学第2外科過剰購入問題について

- ・調査結果の受止め
- ・電極リードの診療請求漏れの損害の扱い
- ・学内の「処分の検討委員会」と「損害金の返還検討委員会」の検討内容
- ・管理システムの改善
- ・職員の人事のあり方に対する見解
- ・2つの調査結果を受けての新たな対応

3 道教委汚職事件について

- ・この事件に対する教育長の見解と事件が起きた問題についての認識
- ・道立学校における物品購入契約の実態解明の必要性
- ・道立高校における特定業者の売店経営に至った経緯
- ・入札改善の取組み
- ・学校職員人事のあり方についての考えと今後の改善

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、教育長から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午前11時48分休憩。午後4時40分再開し、議事の都合により午後4時41分延会。

○7月3日(木) 午後2時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第33号ないし第36号を議題とし、一般質問を継続。

蝦名 清悦議員（民主）から、

1 泊発電所3号機増設問題について

- ・動燃の一連の事故の真相隠し及び原子力業界全体の隠蔽体質についての認識
- ・北電がアセスメントの最中に道・地元自治体を見做して泊原発3号機の電力供給計画を通産省に提出していたことに対する所見及び北電への対応
- ・道民に対する建設日程の情報公開が遅れたことについての認識及び今後の情報公開の対応
- ・北海道エネルギー問題委員会の任務と役割についての認識及びこれまでの委員会の開催と論議経過及び今後の推移
- ・脱原発に向かうアクションプログラム策定のための道としての役割に対する所見
- ・市民参加による検討・協議の場や住民投票の

必要性に対する所見

2 米軍実弾射撃訓練の矢臼別移転問題について

- ・この問題に対する認識
- ・関係する市町村との連携についての考え
- ・受入れに当たって提示した7項目の条件の実現の見通し及びその一つ「米軍基地の整理・縮小する事」の時限を明確にすることについての所見
- ・演習の見切り発車に係る防衛庁への対応
- ・沖縄県の基地返還アクションプログラムの実現を支持して基地の整理及び縮小に向かうことに対する所見

3 千歳川放水路問題について

- ・白紙の状態で治水対策について話し合う場を設定することに対する所見
- ・不測の洪水に備えた当面の対策

4 時のアセスメント制度について

- ・対象事業についての考え方及びこれまでの取り組み経過
- ・対象事業の明示
- ・再評価作業に当たって地元意向が反映されるような仕組みの整備

等について質問があり、知事から答弁。

船橋 利実議員（自民）から、

1 道の関与団体について

- ・見直しに当たっての基本姿勢
- ・関与団体の運営状況公開に向けた指針となるべき事項の検討終了時期
- ・派遣職員数の削減についての見解
- ・住宅供給公社を廃止した場合の負債総額及び住宅供給公社の運営について住宅建設事業廃止を含めた検討の必要性
- ・公益法人の実態について承知している内容

2 高齢者・障害者福祉対策について

- ・福祉環境整備要綱を踏まえた市町村への指導状況及び市町村における要綱・指針策定への動向
- ・高齢者・障害者のための既存施設の改善に当たっての対象となる施設数、事業費の総額及び目標年次並びに年間整備量の変動の有無
- ・点字ブロックの基準の統一化についての考え
- ・福祉のまちづくり条例の趣旨が道内のどの地域でも着実に推進されていくための国の機関、市町村などとの連携についての考え

3 牛等家畜ふん尿処理対策について

- ・クリプトスポリジウム問題に関する認識
- ・家畜ふん尿処理問題への取り組み
- ・環境生活部を中心とした庁内チームによる協議の経過と今後のスケジュール
- ・支庁ごとの市町村や農協等の関係機関・団体を構成員とする家畜ふん尿適性処理のための推進協議会の開催状況、主な検討内容及び実施事項並びにクリプトスポリジウム問題の協議状況
- ・家畜ふん尿処理対策事業費の位置付け
- ・開発局に対するふん尿処理試験施設の設置要請についての所見

等について質問があり、知事、総務部長及び保健福祉部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。議長から会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。議事進行の都合により午後3時46分休憩。午後4時15分再開し、

石井 孝一議員（自民）から、

1 医療問題について

- ・地域の医師確保策
- ・医師の確保に向けた道内3医大との連携についての所見
- ・札幌医科大学の役割についての考え
- ・札幌医科大学における医療従事者養成の基本的考え
- ・札幌医科大学における老人科設置についての検討の有無
- ・教育・研究及び診療環境の整備充実についての所見
- ・札幌医科大学の市町村等への教員、研修生の派遣状況
- ・付属病院を支える研究生の身分保証等の施策の必要性
- ・地域医療総合講座設置、情報センター整備の具体的な取り組み

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、あらかじめ会議時間を延長の後、知事から答弁。

前田 康吉議員（新道政）から、

1 北海道経済の活性化について

- ・本道経済を取り巻く状況及び新たな産業の創出の必要性についての認識並びに産業クラスター論などの取り組みの評価及びその本道経済への活用
- ・今後の産業振興に向けた施策展開の考え方
- ・時代に対応した企業育成の積極的な取り組みを

進めることに対する見解

- 2 札幌医科大学における講座の設置等について
 - ・ 講座の設置状況とその意義
 - ・ 医学の進歩や疾病構造の変化などに対応した新たな講座の設置についての認識
 - ・ 知事公約である札幌医科大学の地域医療講座の設置についての所見
 - ・ 救急医療に対応する講座の開設の必要性
 - ・ 高度医療救命救急センターの指定に当たっての基本的考え方の具体的方向性

等について質問があり、知事から答弁。

米沢 一喜議員（自民）から、

- 1 「北の世界遺産」について
 - ・ 道政改革の実施方針として示された構想の論議がなされた場及びこの時期に北の世界遺産について選定を行おうとした理由
 - ・ ユネスコの世界遺産との違い及び道が選定する遺産をユネスコの世界遺産として登録する考えの有無
 - ・ 遺産の選定対象及び選定の具体的な地域
 - ・ 北の世界遺産として登録された地域等の保全の仕組み
 - ・ 北の世界遺産について検討していく組織及びその支援体制
- 2 道立広域公園の現状と整備について
 - ・ 道立公園の整備促進についての所見
 - ・ 現在建設中の公園についての進行状況
 - ・ 計画中の道南圏、十勝圏の2公園の事業スケジュール及び来年度の事業費確保
 - ・ 未計画中の道北圏の整備方策

等について質問があり、知事及び建設部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

鎌田 公浩議員（自民）から、

- 1 北海道の経済状況について
 - ・ 現在の北海道経済についての認識及びここ数年の経済成長率の推移
 - ・ 道の財政構造の特徴
 - ・ 道内総生産額に占める公共投資額の割合
 - ・ 北海道の産業構造についての認識
- 2 国の財政構造改革会議の最終報告について
 - ・ 最終報告に対する率直な感想及びそれぞれの項目についての認識並びに関心をもって対処しようとする項目とその理由
 - ・ 北海道新幹線実現に向けた最終報告がなされる以前の取り組み及び最終報告を踏まえた今後の

の取り組み

- ・ 最終報告がなされる以前の道に対する要望の有無及びその内容
 - ・ 道の財政状況及びその状況に対する所見
 - ・ 過去の財政健全化に向けた取り組みの推移及びそれら取り組みの成果
 - ・ 国の最終報告を踏まえた財政健全化に向けた取り組み及びその最終報告による策定方針の変更の有無
 - ・ 財政健全化の取り組みが道内経済に与える影響についての認識
 - ・ 道内自治体が抱えている問題についての認識
- 3 北海道経済における公共事業の役割などについて
 - ・ 北海道経済における公共事業の果たす役割及び公共投資のあり方についての所見
 - ・ 北海道における社会資本の整備状況及びその対全国比並びにその状況に対する所見
 - ・ 自治体の公共工事コスト縮減の指導による各部の取り組み状況及び行動計画策定に当たっての考え方とその策定期間並びに全庁的な取り組みによる計画策定及びその推進についての所見
 - 4 国の最終報告に対する道の施策について
 - ・ 公債費のような義務的経費の増加による財政硬直化への対処
 - ・ 地方公共団体に対する補助金等の見直しによる市町村財政への影響の受止め及びその対処
 - ・ 現在策定されている新長期総合計画に対する影響についての所見及び計画の見直しの必要性
 - ・ 今後の予算編成方針
 - ・ 来年度の予算要求に対する考え方と取り組みについての見直し
 - ・ 地方財政改革を推進していくに当たっての決意と見通し及び今後の北海道経済の将来についての所見

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後6時25分延会。

○7月4日（金） 午前10時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第33号ないし第36号を議題とし、一般質問を継続。

久田 恭弘議員（自民）から、

1 第三次北海道長期総合計画について

- ・産業クラスターの創造に向けての中間報告に対する評価及び今後の産業クラスターの創造に関する取組み
- ・北海道経済の自立に向けた条件整備についての考え
- ・クラスター創造の目標と進め方等の新総合計画における位置付け及び庁内体制の構築推進方法

2 港湾問題について

- ・石狩湾新港の貨物集荷体制の整備状況
- ・荷役機械の整備が終わる11月までの荷役体制及び将来の荷役体制についての考え

3 行財政問題について

- ・担うべき新たな役割を自ら明示した上で国の行財政のあり方を問うことについての所見

4 地方分権の推進について

- ・都市計画事務に係る地方分権の受け皿としての市町村と都道府県の役割及び市町村と道との調整並びに都道府県と国との調整のあり方についての受止め
- ・市、町のマスタープランの充実に向けた督促
- ・自治体職員の都市整備に関する研修機会の増加に向けた対応

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

大谷 和則議員（21'道民）から、

1 北海道が抱える諸課題について

- ・米軍実弾射撃訓練移転に係る申入れに対する国の回答及び住民の不安を解消する責任がある知事の姿勢
- ・訓練スケジュールなどの詳細の公開方策及び住民からの意見反映方策
- ・地元関係自治体との連絡協議会の内容、日程及び構成メンバー
- ・トラブルが生じた際に住民がただちに連絡できる窓口の設置

2 教育問題について

- ・中高一貫教育を導入する意義
- ・中高一貫教育導入に向けての課題についての認識
- ・中高一貫教育について検討するに当たって配慮する内容
- ・本道において最近の児童生徒が凶悪犯罪に巻き込まれた事件の実態及び対応策

- ・文部省が開催した全国教育委員会の学校安全対策担当者を集めた臨時会議の内容
- ・文部省の臨時集会の結果に対する取組みの道教委独自の盛込み
- ・今後の道教委の児童生徒安全対策
- ・文部省の臨時集会の結果の通知を受けた学校などがとった対応
- ・児童生徒の安全確保に向けた警察など行政機関との連携
- ・私立の学校、幼稚園などの安全確保対策
- ・それぞれの地域における私立学校、私立幼稚園が連携した児童生徒の安全確保に対する見解
- ・安全確保の一環として児童、生徒や父兄に対する心理的な面でのフォロー体制の整備

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

佐藤 英道議員（公明）から、

1 平和問題について

- ・平和への誓いを新たにする事業や世界の各地との結び付きを強める国際交流事業などの取組みについての所見
- ・世界平和をアピールする取組みを進めることについての所見
- ・軍縮会議が本道で開催される意義と支援策及び道民世論を喚起するための取組み
- ・軍縮会議に参加する方々と地域住民等との交流の機会を設ける取組みについての所見
- ・NGO 活動に対する基本的な認識及び NGO が活動しやすい環境づくり

2 北方領土問題について

- ・知事の北方4島訪問の成果についての認識
- ・ビザなし交流枠の拡大についての考え
- ・ビザなし交流における船舶の大型化についての考え
- ・環境、教育、文化などの専門分野の交流についての見解

3 保健福祉問題について

- ・東京都や大阪府の痴呆性高齢者や知的障害者などの財産保全・管理サービスの取組みの受止め
- ・痴呆性高齢者や知的障害者に対する権利擁護機関の設置による財産保全サービスや財産管理サービスの実施を検討することについての所見
- ・東京都や名古屋市の視覚障害者向け薬袋導入

の受止め及び道立病院における点字付き薬袋の導入についての見解

等について質問があり、知事から答弁があって、議事進行の都合により午前11時55分休憩。午後1時20分再開し、

大橋 晃議員（共産）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・日米ガイドラインの見直しに係る中間報告についての所見
- ・米海兵隊の矢臼別演習場移転に関して道民生活の安全が守られるとする根拠
- ・米軍による調査の対象となっている道内港湾
- ・官官接待、飲食に対する認識
- ・東京事務所における会食相手が定かでない49件の食糧費の執行について非公開としたことに対する所見
- ・官官接待についての相手方省庁に対する出張者、出席者の調査の有無及び札幌地裁の調査嘱託による会食なし36件についての見解
- ・平成8年度の食糧費予算の実績見込み及び平成9年度予算における食糧費に対する見解
- ・政府の財政構造改革会議の中間報告に対する所見
- ・私学助成の拡充を求めることについての所見
- ・公立小中学校の教職員配置改善の取り組み
- ・天下りした役員の退職金規定の見直しに対する見解

2 産業開発問題について

- ・泊原発3号機の削除を申し入れることに対する見解
- ・士幌高原道における帯広畜産大学教授の調査結果の評価及び計画を中止する考えの有無
- ・時のアセスの対象事業
- ・住宅供給公社が知事の承認なしに値引き販売をしたことに対する見解
- ・住宅供給公社に対する検査及び監督の実施に対する見解
- ・住宅供給公社に対する道警による捜査
- ・幌向鉄道林保全のため岩見沢市長に指導を行うことに対する見解
- ・忠別ダムの一時中止を国に求めることに対する見解
- ・サンルダムの着工を止めることに対する見解
- ・ウトナイ湖湿原のための保全工法の検討
- ・帯広市内を流れる売買川の改修を都市近郊の自然復元モデル事業として位置付けることに

対する見解

3 道民生活問題について

- ・産業廃棄物焼却炉の設置状況の調査
- ・ダイオキシンの調査において分析を炉製造メーカーと同一のものに委託した数及び調査実施の状況並びに焼却炉改善への道の助成等に対する見解
- ・5トン以下の焼却炉を道の排出抑制基準の対象とすることが改正産廃物に適合することに対する見解
- ・支庁等焼却炉の設置状況についての自主調査
- ・道立学校における焼却炉の設置実態の調査
- ・ダイオキシンゼロ道民行動計画策定に対する見解
- ・本道における古紙リサイクルの現状認識及びリサイクル促進の対応
- ・製紙メーカーに対する古紙引取り、再利用の拡大の要請及び一方的な価格の引下げを行わない要請に対する見解並びに再生品の販売に力を入れるよう小売業界に要請することに対する見解
- ・オフィス古紙の回収率を高めるための道庁における取り組み

4 教育問題について

- ・寄宿舎指導員の基準に関する改善計画に対する見解
- ・寄宿舎指導員に係る養護学校長からの改善要望内容及び指導員の増員の進め方

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。議長から会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言があって、質疑並びに一般質問を終結。

議長から、企業会計決算に関する案件について、本議会に19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○企業会計決算特別委員（19人）

蝦名 清悦（民主）	本間 勲（自民）
星野 高志（民主）	萩原 信宏（共産）
小原 葉子（民主）	高橋由紀雄（民主）
森 成之（公明）	板谷 實（21'道民）
米沢 一喜（自民）	伊藤 条一（自民）
加藤 和久（自民）	川村 正（自民）

永井 利幸（自民） 勝木 省三（自民）
鈴木 泰行（民主） 森 敏捷（民主）
石川十四夫（新道政） 中川 義雄（自民）
藤井 猛（自民）

残余の案件については、議案付託一覧のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託して、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、午後2時46分休憩。午後7時40分再開し、諸般の報告の後、

追加日程 議案第1号ないし第25号を議題とし、総務、建設、水産林務及び文教の各委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、議案第3号及び第23号ないし第25号に関する反対討論があつて討論終結。採決に入り、まず議案第3号及び第23号ないし第25号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決（共産反対）。次に議案第1号、第2号及び第4号ないし第22号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決。

追加日程 議案第28号及び第29号を議題とし、知事から追加提出議案について説明。採決に入り、まず議案第28号を問題し、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり同意議決（共産反対）。次に議案第29号を問題して、異議なく原案のとおり同意議決。

追加日程 議案第30号並びに北海道総合開発計画に関する道意見案調査の件を議題とし、知事から追加提出議案及び道意見案について説明の後、議案第30号を総合開発調査特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付した。次に道意見案調査の件を総合開発調査特別委員会に付託し、議会において調査終了を議決するまで継続調査を行うこととした。

追加日程 苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙に入り、指名推薦の方法をもって、議長指名により、次の議員を当選人と決定。

○苫小牧港管理組合議会議員

板谷 實（21'道民）

○石狩東部広域水道企業団議会議員

森 敏捷（民主）

○石狩湾新港管理組合議会議員

見延 順章（自民） 段坂 繁美（民主）

和田 敬友（自民） 吉田 恵悦（公明）
土田 弘（民主） 輪島 幸雄（民主）
山口 真人（自民） 平野 明彦（自民）

○石狩西部広域水道企業団議会議員

林 大記（民主）

追加日程 決議案第1号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上討論に入り、大橋晃議員（共産）から反対討論があつて討論終結。採決に入り、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決（共産反対）。

追加日程 意見案第2号ないし第6号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上討論に入り、大橋晃議員（共産）から、意見案第2号及び第3号に関する反対討論があつて討論終結。採決に入り、まず意見案第2号及び第3号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決（共産反対）。次に意見案第4号ないし第6号を問題とし、いずれも異議なく原案のとおり可決。

閉会中継続審査の件について、企業会計決算特別委員会から申出のとおり、報告第33号ないし第36号を閉会中継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長から申出のとおり閉会中継続審査及び調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、議案第30号及び報告第33号ないし第36号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後8時13分閉会。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 17	1	北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	総 務	7. 4	原案可決
同	2	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	3	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	4	北海道道の路線の認定に関する件	同	同	同
同	5	工事請負契約の締結（北海道上川合同庁舎改築工事〔第3工区〕）に関する件	総 務	同	同
同	6	工事請負契約の締結（北海道上川合同庁舎改築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	7	工事請負契約の締結（北海道上川合同庁舎改築工事〔第4工区〕）に関する件	同	同	同
同	8	工事請負契約の締結（北海道上川合同庁舎改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	9	工事請負契約の締結（北海道立稚内水産試験場改築工事〔管理研究棟〕）に関する件	水産林務	同	同
同	10	工事請負契約の締結（北海道立稚内水産試験場改築工事〔放流実験棟〕）に関する件	同	同	同
同	11	工事請負契約の締結（利尻空港ターミナルビル新築工事）に関する件	建 設	同	同
同	12	工事請負契約の締結（3・3・11環状1号線雨紛大橋新設工事〔上部工〕）に関する件	同	同	同
同	13	工事請負契約の締結（北海道釧路工業高等学校改築工事〔第3工区〕）に関する件	文 教	同	同
同	14	工事請負契約の締結（北海道釧路工業高等学校改築工事〔第4工区〕）に関する件	同	同	同
同	15	工事請負契約の締結（北海道富良野工業高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	16	工事請負契約の締結（北海道釧路工業高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	17	工事請負契約の締結（北海道釧路工業高等学校改築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	18	工事請負契約の締結（北海道北見北斗高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	19	工事請負契約の締結（北海道喜茂別高等学校改築工事）に関する件	同	同	同
同	20	工事請負契約の締結（北海道札幌東商業高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	21	工事請負契約の締結（北海道千歳高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	22	工事請負契約の締結（北海道千歳高等学校改築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	23	工事委託契約の締結（滝上町特定環境保全公共下水道処理場建築工事）に関する件	建 設	同	同
同	24	工事委託契約の締結（真狩村特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	25	工事委託契約の締結（南富良野町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	26	北海道副知事の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	27	北海道出納長の選任につき同意を求める件		同	同
7. 4	28	北海道公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	29	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	30	国土利用計画（北海道計画）の変更に関する件	総合開発 調査特別	同	継続審査

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 17	1	平成8年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	2	平成8年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			同
同	3	平成8年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	4	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	5	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	6	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	7	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	8	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	9	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	10	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	11	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	12	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	13	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	17	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	20	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	21	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道長寿社会振興財団の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			同
同	24	財団法人北海道暴力追放センターの経営状況に関する件			同
同	25	社団法人北海道栽培漁業振興公社の経営状況に関する件			同
同	26	財団法人北海道建設技術センターの経営状況に関する件			同
同	27	財団法人北海道科学・産業技術振興財団の経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道公営企業振興協会の経営状況に関する件			同
同	29	財団法人新千歳空港周辺環境整備財団の経営状況に関する件			同
同	30	土地信託の事務処理状況に関する件			同
同	31	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に係るもの〔平成6年10月13日議決を経た議案第36号に係るもの〕平成9年6月2日専決処分）			同
同	32	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成9年5月23日1件、平成9年5月26日1件、平成9年5月30日2件、平成9年6月3日4件、平成9年6月4日3件、平成9年6月5日1件、平成9年6月9日9件専決処分）			同
7. 1	33	平成8年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 4	継続審査
同	34	平成8年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	35	平成8年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	36	平成8年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同

第2回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
7. 4	1	北海道国際航空株式会社に対する支援に関する決議	清水誠一議員ほか6人	7. 4	原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
6. 25	1	北海道開発体制機能の維持充実にに関する意見書	清水誠一議員ほか7人	6. 25	原案可決
7. 4	2	道路特定財源堅持等に関する意見書	高橋文明議員ほか13人	7. 4	同
同	3	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書	石川十四夫議員ほか12人	同	同
同	4	じん肺被害者救済に関する意見書	清水誠一議員ほか7人	同	同
同	5	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	山口幸太郎議員ほか13人	同	同
同	6	北方領土問題等の解決促進に関する意見書	高橋定敏議員ほか12人	同	同

決 議

決議案第1号 北海道国際航空株式会社に対する支援に関する決議

〔平成9年2定
清水誠一議員ほか6人提出
平成9年7月4日 原案可決〕

新千歳から羽田間の航空運賃半額化と、新千歳の国際ハブ空港化を目的として、道民出資による北海道国際航空株式会社が昨年11月、多くの道民の期待のもと設立されたことは承知のとおりある。

今回東京羽田空港における新規参入会社1社の発着枠数が3便を限度とする枠配分となっており、このような内容は北海道国際航空株式会社の経営にとって、極めて厳しいものであるが、現在、運行に向け、認可の手続きを進めているところである。

言うまでもなく、航空事業は公的役割を担い、かつ、今日の規制緩和推進を図る上からも、航空会社の新規参入とその育成は欠くことのできないものであり、北海道の活性化につながるものである。

したがって、道議会としても北海道国際航空株式会社の熱意と道民の期待にこたえるため、運行実現に向けて積極的に支援するものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

意 見 書

意見案第1号 北海道開発体制機能の維持充実に関する意見書

〔平成9年2定
清水誠一議員ほか7人提出
平成9年6月25日 原案可決〕

現在、行政改革会議において、21世紀の我が国の国家機能と中央省庁の再編のあり方について検討されている。

北海道においては、昭和25年に国民経済の復興及び人口問題の解決に寄与することを目的として、北海道開発法が制定されるとともに、北海道開発庁及び北海道開発局が設置され、本道の広大な国土の社会資本整備を計画から実施に至るまで総合的、一元的に推進してきた。

21世紀のあるべき国と地方公共団体の機能と組織の再編に際しては、豊かな自然環境と国民への安らぎ空間、安全・良質な食料の安定供給、北の国際的交流拠点、新産業の研究開発拠点形成など、北海道が持つ潜在力と発展可能性が十分活かされなければならない。

したがって、地方分権の推進による地方公共団体の役割・強化を図る中で、道民生活の安定と国土の適正な形成を図るという国家目標を達成するため、総合的かつ効率的・効果的な地域開発に関する機能と組織の再構築及び北海道開発に貢献し得る金融の機能強化が求められている。

このため、現行の北海道開発体制の機能を維持充実することを要望する。
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、内閣官房長官、
総務庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第2号 道路特定財源堅持等に関する意見書

〔平成9年2定
高橋文明議員ほか13人提出
平成9年7月4日 原案可決〕

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展にとって欠くことのできない最も基本的な社会資本であり、その整備は長期的な視点に立って着実に推進されなければならない。

ことに、広域分散型社会を形成する北海道の社会資本の整備状況は、全国と比較していまだ十分とはいえない状況にあり、根幹となる高規格幹線道路から住民生活に密着した市町村道に至る道路網の整備をなお一層促進する必要がある。

しかしながら、国の財政再建が論議される中で道路特定財源を一般財源化すべきなどの意見があるが、これが実施されると、自動車交通への依存度が高い本道の道路整備がたちおくれることになり、各地の地域振興や社会経済活動の活性化にとって極めて深刻な事態となる。

道路特定財源は道路利用者の理解と負担によるもので、本来、その全額を道路整備に充てるべきものである。

よって、次の事項について強く要望する。

記

- 1 揮発油税、自動車重量税等の道路特定財源制度を堅持し、他への転用は絶対に認めないこと。
- 2 高規格幹線道路を初めとする道路網の形成や交通渋滞、交通事故などさまざまな課題を抱える道路の現状を改善し、道民生活の向上と経済の発展を図るため、新たな道路整備計画を策定し、その実施に必要な所要の予算額の確保を図ること。
- 3 積雪寒冷地域である本道の冬期交通の安全を確保するため、新たな積雪寒冷特別地域道路交通確保計画を策定し、その実施に必要な所要の予算額の確保を図ること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、
自治大臣、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第3号 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書

〔平成9年2定
石川十四夫議員ほか12人提出
平成9年7月4日 原案可決〕

本道の石炭鉱業は、国内炭生産の段階的縮小を基本とする「新しい石炭政策」のもと、早いテンポで構造調整が進められ、坑内掘炭鉱は釧路市の太平洋炭鉱のみとなった。

しかし、石炭鉱業は地域の基幹産業として今なお大きな役割を果たしており、地域ではその存続・安定を切望している。

現在、海外の産炭国が坑内掘に移行する中で、太平洋炭鉱が保有している石炭技術は、高く評価され、国際協力などを通じ、エネルギー政策の一環として、石炭の安定供給を図るためにも、太平洋炭鉱の存続を図ることが必要と考える。

また、産炭地域においては、過去の閉山の影響による、人口の減少や財政の悪化、高齢化の進行など多くの課題を抱えながら、地域の活性化のため産業基盤や生活環境の整備を初め、地場産業の振興などに懸命に取り組んでいる。

そのため、「産炭地域振興実施計画」を着実に実行し、地域の経済的・社会的疲弊を払拭し、総合的な振興を図ることが強く求められている。

ついては、このような本道の石炭鉱業並びに産炭地域の厳しい実情をご理解いただき、平成10年度の予算編成並びに今後の施策の実施に当たり、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1 石炭対策財源の確保

「石炭並びに石油及びエネルギー需給構造高度化対策特別会計」の特定財源による石炭関係予算の安定的な確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策並びに産炭地域振興対策への重点配分を図ること。

2 現存炭鉱存続のための各種施策の充実強化

現存炭鉱の存続と石炭鉱業の安定を図るため、需要の確保、適切な炭価の設定、各種助成設置の充実強化、露頭炭業者等に対する配慮などの措置を講ずること。

3 国際的技術協力

国際的技術協力等を通じて海外炭の安定供給に資するため、現存炭鉱を活用した石炭技術の研究・開発機能を有する（仮称）「国際石炭技術交流センター」を本道に設置すること。

4 産炭地域振興実施計画の実効性の確保

産炭地域振興実施計画を着実に推進するため、関係省庁間の連絡・協調を従来にも増して緊密なものとして、事業の先行的、重点的な推進を図るとともに、地方自治体が事業を実施するために必要な財源を確保すること。

5 地域振興整備公団の機能強化等

工業団地造成の早期完成と新規造成を促進するとともに、住宅団地造成事業、炭鉱跡地の整備・再開発事業など産炭地域振興業務の機能強化を図ること。また、企業誘致促進のため、各種融資制度の拡充等を図ること。

6 釧路産炭地域総合発展機構に対する支援

平成8年10月に設置された釧路産炭地域総合発展機構に対し、引き続き産炭地域活性化事業費補助金により支援すること。

7 石炭企業等の経営多角化等に対する支援の強化

石炭企業等が実施する経営の多角化等に対する各種助成設置を強化するとともに、制度の弾力的運用を図ること。

8 産炭地域振興対策の強化

産炭地域の振興を図るため、第3セクターに対する無利子融資制度の適用等による地域活性化プロジェクトの推進、街づくりのための炭鉱跡地再開発に対する支援、企業誘致の促進、消防総合訓練センターや簡易保険福祉施設等公的施設の設置などの措置を講ずること。

9 地方自治体への財政援助

産炭地域市町村の財政の安定を図るため、産炭地域振興臨時交付金制度の拡充強化、炭鉱閉山が行われた産炭地市町村に対する新たな地域活性化資金制度の創設、地方交付税制度の拡充強化などの措置を講ずること。

10 雇用対策

雇用の安定等を図るため、経営の多角化、新分野開拓に伴う職業転換訓練、配置転換、出向等を行う事業主に対する助成制度の拡充強化を図るとともに、地元雇用の創出に配慮すること。

11 中小商工業者対策の充実強化

産炭地域振興臨時交付金構造調整地区中小商工業者対策調整額制度の既往貸付金の償還猶予等の措置を講ずること。

12 ずり山対策

ずり山の崩壊による鉱害の防止措置を講ずるため、助成措置等について弾力的な扱いをすること。

13 石炭関係優遇税制の延長

閉山炭鉱地域における工業用機械等の特別償却制度など、各種石炭関係優遇税制を延長すること。

14 指定解除地域への振興策

平成9年4月1日をもって産炭地域の指定解除となった宗谷産炭地域経済生活圏、留萌産炭地域経済生活圏の市町村の地域振興対策の実施に当たり、特段の配慮をすること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、農林水産大臣、
通商産業大臣、運輸大臣、郵政大臣、労働大臣、
建設大臣、自治大臣、北海道開発庁長官、国土庁長官 } 各通

意見案第4号 じん肺被害者救済に関する意見書

〔平成9年2定
清水誠一議員ほか7人提出
平成9年7月4日 原案可決〕

じん肺訴訟については、これまでに2件の最高裁判決を含め26件の判決が出されているが、いずれも企業の責任を明確にしている。

しかしながら、じん肺訴訟の中で企業は、その責任を追及され、「一定の時の経過」を理由として時効を主張している。

北海道においても、元炭鉱労働者を初め多数のじん肺患者が今なお苦しみ続けており、看過し得ない現状にある。

こうしたことから、国を含めて関連企業においては、じん肺被害者救済のため、じん肺問題の早期解決に努めるよう強く求めるものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、通商産業大臣、
労働大臣 } 各通

意見案第 5 号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

〔平成 9 年 2 定
山口幸太郎議員ほか13人提出
平成 9 年 7 月 4 日 原案可決〕

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行教育制度の重要な根幹をなしている。

しかしながら、政府は、昭和60年度以降義務教育費国庫負担制度の見直しを行い、旅費、教材費、恩給費を国庫負担の対象から除外したほか、平成 5 年度に共済費追加費用等について負担率の段階的引き下げを早めて、完全に一般財源化することとした。

さらに、平成10年度の予算編成においても、6月16日に示された「財政構造改革会議」の財政構造改革のための法律案の骨子によると、「補助金等については、交付の対象となる事業等又は当該事業等に係る施策の見直しを行うことにより、削減または合理化を行うものとする。」としており、このことにより学校事務職員及び学校栄養職員の給与費が、国庫負担の対象から除外されることが懸念されるが、これが実施された場合は、厳しい地方財政に対し単に負担を増大させるにとどまらず、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府におかれては、学校事務職員・学校栄養職員等を国庫負担の対象からはずすことなく、現行義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、
文部大臣、自治大臣 } 各通

意見案第 6 号 北方領土問題等の解決促進に関する意見書

〔平成 9 年 2 定
高橋定敏議員ほか12人提出
平成 9 年 7 月 4 日 原案可決〕

我が国固有の領土である歯舞、色丹及び国後、択捉等の北方領土の返還の実現は、我々に課された国民的課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかるに、戦後51年を経た今日もなお、北方領土は返還されず、日露両国間に平和条約が締結されていないことは誠に遺憾なことである。

日露両国間における政治対話を初めとする人的、物的交流の一層の拡充を図り、北方領土問題を解決して、平和条約を締結することは、両国間の基本関係の正常化のみならず国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

よって、政府においては、北方領土の返還を求める国民の総意と心情にこたえるため、北方領土問題が四島の帰属問題であると位置づけた「東京宣言」を基盤とし、北方領土の返還を実現して、平和条約を締結することにより、日露両国間の真に安定的な友好関係を確立するとともに、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

一 国民世論の統一と高揚を図るため、全国的な啓発運動を推進すること。

- 一 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく振興対策の充実強化を図ること。
- 一 北方地域旧漁業権に対する補償措置を早急に講ずること。
- 一 北方領土墓参については、希望地域で実施できるようにすること。
- 一 墓参未実施墓地について、現地調査を早急に実施すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産
大臣、総務庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

請 願 ・ 陳 情

委員会の改組に伴う請願・陳情の付託替え（平成9年6月1日）

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 年 月 理 日	付 年 月 託 日	付託委員会名
10	無免許療術行為取締りに関する件	社団法人北海道鍼灸 マッサージ師会 佐藤 俊雄	7.10. 4	7.10.11	保健環境から 保健福祉へ
15	子供たちの健やかな発達を願い、学校給食に安全で おいしい国産米100%のお米を供給することを求める 件	新日本婦人の会北海道 本部 会長 渡辺 昌子	7.10. 9	7.10.11	生活福祉から 保健福祉へ
16	同	同	7.10. 9	7.10.11	保健環境から 保健福祉へ
33	最低保障年金制度の創設等を求める国への意見書提出 に関する件	全日本年金者組合北海 道本部 執行委員長 森 昭	7.10.31	7.11.29	生活福祉から 保健福祉へ
34	介護手当の増額と入院給食費の補助を求める件	北海道生活と健康を守る 会連合会 会長 三浦 誠一	7.10.31	7.11.29	生活福祉から 保健福祉へ
35	同	同	7.10.31	7.11.29	保健環境から 保健福祉へ
56	道民の願いにこたえ、「いつでも」「だれでも」利用 できる福祉施策の充実を求める件	全国福祉保育労働組合 北海道地方本部 執行委員長 古沢 関子	8. 7. 3	8. 7. 4	生活福祉から 保健福祉へ
57	「アイヌ新法」の具体化について求める件	アイヌ問題を考える懇 話会常任代表理事・事務 局長 田中 了	8. 7. 4	8. 9.25	生活福祉から 環境生活へ
58	道立保健所の削減に反対し、一層の機能強化を求め る件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫 外4人	8. 9.24	8. 9.30	保健環境から 保健福祉へ
60	透析患者の入院時食事療養費への重度心身障害者医 療給付事業の適用を要望する件	北海道腎臓病患者連絡 協議会 会長 岩崎 薫	8.10. 1	8.10. 3	保健環境から 保健福祉へ
71	入院給食費への助成を求める件	北海道民主医療機関連 合会 会長 森谷 尚行	8.11.26	8.11.29	保健環境から 保健福祉へ
80	女性施策、特に性暴力被害者保護等の施策の推進に 関する件	女のスペース・おん世話 人代表 近藤 恵子	9. 2. 5	9. 2.25	生活福祉から 環境生活へ
82	道立自然公園野幌森林公園・旧「休養園地区」（63.5 ヘクタール）の整備に関する件	森・草原・オオジギ 代表 五十嵐 敏文	9. 2.25	9. 3. 4	保健環境から 環境生活へ
85	児童福祉法の「改正」に関する政府への意見書提出 を求める件	北海道労働組合総連合 女性部 部長 平 布美江	9. 3. 5	9. 3.12	生活福祉から 保健福祉へ
90	水道水源としての千歳川の水質保全を求める件	江別きれいな風の会本 部 代表者 岡崎 朱実	9. 3.21	9. 3.25	保健環境から 環境生活へ

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 年 月 理 日	付 年 月 託 日	付託委員会名
6	食品・農産物の安全を求める件	社団法人北海道消費者 協会 三宅 嘉子	7. 9. 29	7.10. 4	保健環境から 保健福祉へ
19	北海道知事が与えた損害に対する補償に関する件	札幌市北区 内村 敏正	8. 7. 4	8. 9. 25	保健環境から 保健福祉へ
25	北海道立釧路病院の早期移転改築に関する件	北海道立釧路病院患者 家族の会 代表 武藤 正春	9. 3. 4	9. 3. 6	保健環境から 保健福祉へ

（注）北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案附則第3項に基づき、請願・陳情の付託替え（平成9年6月1日）されたものである。

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
91	野幌森林公園休養園地区整備計画の見直しを求める件	平和・くらし・みどりを守る江別 連絡会 代表 小松 豊	環境生活	継続審査
92	道立埋蔵文化財センターの建設場所の変更を求める件	同	文 教	同
93	北海道立埋蔵文化財センター建設の予算執行に関する件	埋蔵文化財センター建設予定地 の変更を求める父母の会 代表 五十嵐 玉子	同	同
94	同	森・草原・オオジシギ 代表 五十嵐 敏文	同	同
95	子どもの商業的性搾取を根絶するための法律の見直しと執行強化を求める意見書採択を求める件	ストップ子ども買春の会 代表 宮本 潤子	保健福祉	同
96	教育予算削除をやめ、第六次・高校第五次教職員定数改善計画の早期達成と義務教育費国庫負担・教科書無償措置堅持・私学助成の充実を求める意見書採択に関する件	北海道私学助成をすすめる会 会長 松田 平太郎 外1人	文 教	同
97	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 小岸 照彦	同	同
98	非核の北海道宣言を求める件	核兵器廃絶国民平和実行進北海道 実行委員会 実行委員長 山辺 富也	総 務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
29	自動車の安全な運転手法に「監修」の許可を求める件	函館方面安全運転研究会 代表 吉原 茂	交通安全 対策特別	継続審査

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
74	消費税5%の中止を求める意見書の採択を求める件	消費税廃止北海道各界連絡会 代表 星 三男	総 務	議決不要
75	道営住宅に関する件	北海道公営住宅協議会 代表者 竹内 栄次郎	建 設	同
78	公営住宅条例「改正」などに関する件	東区住みよい公営住宅をめざす 会 代表 米澤 嘉七	同	同
83	道立埋蔵文化財センターの整備に関する件	森・草原・オオジシギ 代表 五十嵐 敏文	文 教	同
85	児童福祉法の「改正」に関する政府への意見書提出を求める件	北海道労働組合総連合女性部 部長 平 布美江	保健福祉	同
87	公営住宅条例改正などに関する件	北海道生活と健康を守る会連合 会 会長 三浦 誠一 外6人	建 設	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
15	障害者地域共同作業所に対する運営費補助に関する件	共同作業所全国連絡会北海道支 部 支部長 中村 正人	環境生活	議決不要
16	同	同	保健福祉	同
22	消費税率の引き上げ中止の決議を要望する件	北海道中小企業家同友会 代表理事 千葉 一	総 務	同

委員会の動き

議会運営委員会

○5月9日（金） 開議 午前11時4分
散会 午前11時6分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 北海道部設置条例審査特別委員会の審議状況について

- ・前会より継続審査中の議案第100号については、5月8日の委員会において修正議決と決定し、審査を終了した旨報告。

2 第1回臨時会について

- ・総務部長から、5月16日に第1回臨時会を招集したい旨並びに臨時会の付議事件は北海道部設置条例の一部を改正する条例及び専決処分報告の件である旨発言。
- ・5月16日の招集を了承。
- ・会期は1日間とする。
- ・議事の進め方については次回委員会において改めて協議する。

○5月16日（金） 開議 午前10時6分
散会 午前10時10分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 第1回臨時会の提出議案について

- ・総務部長から説明。

2 前会から継続審査中の議案第100号北海道部設置条例の一部を改正する条例案の取扱いについて

- ・本日の本会議において委員長報告を行い議決する。

3 北海道議会委員会条例の改正について

- ・議案第100号が議決された場合、常任委員会の名称及び所管など必要な事項を改正する必要があることから、理事会において協議を行った結果、議案第100号の議決に伴う委員会条例の改正について、本日の本会議において議案第100号の議決後に行うこととし、会議案の提出者及び内容は配付別紙のとおりとすることから、各派の意見が一致していることから、本会

議案は本日の本会議において説明及び委員会付託を省略し議決する。

- ・生活福祉委員会及び保健環境委員会で継続審査又は調査中の請願・陳情及び事務調査事件について、改正案の附則により、新条例の規定に基づき所管する常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなすことにしているが、参考までに配付資料のとおり、その内容を整理した旨述べ、これを了承。
 - ・新条例の施行に伴い使用する委員会室は、環境生活委員会は第3委員会室、保健福祉委員会は第7委員会室、経済委員会は第8委員会室、その他は従来どおりする。
- ### 4 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月10日（火） 開議 午後1時1分
散会 午後1時4分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 会派異動等について

- ・無所属喜多龍一議員から、5月28日付をもって会派解散届の提出があり、自民議員会長から、同日付をもって喜多議員が入会し、所属議員が52人となった旨提出があったことを報告。
- ・各派所属議員数が、自民52人、民主34人、21'道民6人、公明6人、新道政6人、共産2人、改革1人、新社1人となった旨報告。
- ・自民及び21'道民から、役員の異動届が提出され、この変更内容については配付別紙の資料のとおりであることを報告。
- ・議員の所属会派の異動に伴い配付議席表のとおり、第2回定例会招集日の本会議において議席の一部を変更する。

2 第2回定例会について

- ・召集日を6月17日とする。
- ・会期は18日間とする。
- ・総務部長から提出予定案件について説明。なお、予算案件については緊急に措置を要するものはなく、議案の提出を行わないこと、また、人事案件先議の申出があり、申出の先議については招集日当日に先議する。
- ・日程について、予算及び予算に関連する案件の提出予定がないことから、予算特別委員会

は設置しないこととし、次のとおり進める。

▽ 第2回定例会

6月17日 本会議
18日～22日 休 会
23日 本会議（常任、議運、特別委員選任）
24日～27日 本会議（一般質問）
28日～29日 休 会
30日
～7月1日 本会議（一般質問）
7月2日 本会議（一般質問、企業会計決算特別委員会設置）
3日 休 会
4日 本会議

3 議会運営に関する決定事項について

- ・今期議運の任期もあとわずかとなっている状況であり、配付別紙の継続検討中の事項については、次期議運において、議会運営の効率化を検討するにあたっての参考資料として申し送ることに決定。

○6月16日（月） 開議 午後5時31分
散会 午後5時35分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 第2回定例会提出議案について

- ・総務部長から提出議案について説明及び、第三次北海道長期総合計画基本計画案について、北海道総合開発計画に関する道意見案として今定例会中に示したい旨発言。
- ・北海道副知事の選任につき同意を求める件及び北海道出納長の選任につき同意を求める件については、先議する扱いとし、知事の提案説明後、委員会付託を省略し議決する。

2 一般質問について

- ・順位は従来の例（十分比方式）による。
- ・8番目と10番目については、21'道民、公明及び新道政が同率のため、3会派において調整し、結果を後日報告する。
- ・諸派の順位について、所属議員数が同数で2派以上の報告がある場合は、輪番制とする。
- ・通告は6月20日（金）正午までとする。

3 企業会計決算特別委員会について

- ・委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料の協議事項記載のとおりとする。

- ・委員名簿は6月30日（月）正午までに提出する。

4 6月17日の本会議議事順序について

- ・明日の委員会において協議する。

5 予算特別委員会及び決算特別委員会の各分科会審査における所管部の改正について

- ・北海道部設置条例が一部改正されたことに伴い、所管部の名称について変更する必要があることから、配付別紙のとおり取り進めることに決定。

○6月17日（火） 開議 午前9時47分
散会 午後2時27分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 本日の本会議について

- ・本会議を開会するには、なお少し調整に時間を要する状況であることを報告。（午前9時48分休憩、午後2時26分再開。）

2 本日の本会議について

- ・従来の例と異なるが、議会運営の効率化を図る観点から、日程第1 議席の一部変更の件、日程第2 会議録署名議員の指定、日程第3 会期決定の件、日程第4 議案第1ないし第27号の議事を行う。

3 休会の決定について

- ・議案調査のため6月18日から6月20日まで休会し、6月23日（月）再開する。

4 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月23日（月） 開議 午後零時50分
散会 午後6時27分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史（自民）

1 会派異動届について

- ・公明から、平成9年6月23日付をもって会派の名称を「公明議員団」から「公明議員会」に変更した旨の報告及び役員異動届の提出があったことを報告。
- ・各派役員を配付別紙のとおり整理した旨報告。

2 本日の本会議について

- ・本会議を開会するには、なお少し調整時間を要する状況であることを報告。
- ・関係各派において引き続き調整願う。

3 今期定例会において予定されている任期2年の常任委員及び議会運営委員並びに2年交代が慣例の特別委員の改選に伴う委員会構成等について

- ・配付別紙の各委員会各派別配分表のとおり決定。

(午後零時52分休憩、午後4時30分再開。)

4 先ほど決定した各委員会各派別配分表について

- ・再度配付したとおり変更して決定。

5 本日の本会議について

- ・取りあえず会議時間を延長し、関係各派において鋭意調整願う。

(午後4時31分休憩、午後6時25分再開。)

6 本日の本会議について

- ・本日子定の各委員会委員の選任については日程を延期し延会する。

7 一般質問について

- ・通告(25名)について報告。
- ・順位の8番目は公明、10番目は新道政となった旨了承。
- ・個人別順位は配付資料の通告一覧表のとおり決定。
- ・進め方については改めて協議する。

○6月24日(火) 開議 午前9時47分
散会 午後5時20分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史(自民)

1 本日の本会議について

- ・本会議を開会するには、なお少し調整時間を要する状況であることを報告。
- ・関係各派において引き続き調整願う。

(午前9時48分休憩、午前11時55分再開。)

2 本日の本会議について

- ・一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。

(午前11時56分休憩、午後4時15分再開。)

3 本日の本会議について

- ・取りあえず会議時間を延長する。

(午後4時16分休憩、午後5時14分再開。)

4 議長及び副議長の辞職願について

- ・本日付をもって、議長及び副議長から、それぞれ辞職願の提出があった旨報告。
- ・議長及び副議長からそれぞれあいさつ。
- ・辞職願は、本日の本会議において日程に追加

し、これを許可する。

- ・辞職願を許可した場合、日程に追加し本日の本会議において選挙を行う。

5 選挙の方法について

- ・投票により行い、単記無記名とする。
- ・議長選挙は黄色、副議長選挙は桃色の投票用紙を使用する。
- ・委員長から、次の5人の委員を立会人に指名。
釣部 勲(自民) 吉田 栄(民主)
風早 俊男(21'道民) 吉田 恵悦(公明)
上田 茂(新道政)
- ・投票の方法は、後ほど本日の本会議議事順序において事務局から説明願う。
- ・白票は、投票総数には算入するが、有効投票には算入しない。

6 会派異動届について

- ・民主党・道民連合から、平成9年6月24日付をもって、役員の異動届が提出された旨及び各派の役員名簿を配付別紙のとおり整理した旨報告。

7 今後の日程について

- ・本日は正・副議長の選挙を行い、残余の日程を延期し延会することとし、明25日に各委員会委員の選任を行う。
- ・一般質問などの日程については改めて協議願う。

8 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月25日(水) 開議 午前10時3分
散会 午前10時8分
議会運営委員会室
委員長 高橋 一史(自民)

開議に先立ち、岩本允議長及び神本三也副議長からあいさつ。

1 議席の一部変更について

- ・配付別紙の議席表のとおり、本日の本会議において議席の一部を変更する。

2 特別委員の辞任許可について

- ・総合開発調査、産炭地域振興対策、北方領土対策、エネルギー問題調査、交通安全対策及び地方分権・行政改革問題調査の各特別委員会の委員全員から、それぞれ委員辞任の願い出があり、議長が本日許可した旨報告。

3 各常任委員、議会運営委員及び各特別委員の

選任について

- 各派から提出のあった配付別紙の名簿のとおり、本日の本会議において選任する。
- 一般質問の進め方について
 - 本日2名行い、その後の進め方は、次期議運において協議願う。
 - 陳情の取扱いについて
 - 陳情第29号については、本日の本会議において交通安全対策特別委員会に付託する。
 - 本日の本会議について
 - 議席の一部変更の件、各委員会委員の選任及び陳情第29号の議事後、一旦休憩し、各委員会正・副委員長互選などを行った後、再開する。
 - 本日の本会議議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。

閉会にあたり委員長及び総務部長からあいさつ。

~~~~~

— 委員改選後 —

○6月25日（水） 開議 午前11時2分  
散会 午後3時10分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友（自民）

開議に先立ち、議長及び副議長からあいさつ。

- 正副委員長の互選
  - 委員長に和田敬友委員（自民）、副委員長に吉田栄委員（民主）を選出。



和田敬友委員長



吉田 栄副委員長

- 理事会について
  - 自民及び民主は各2名、21'道民、公明及び新道政は各1名の計7名の理事を選出し、その協議により運営する。
  - 次の理事に決定。

|              |           |
|--------------|-----------|
| 伊藤 条一（自民）    | 加藤 礼一（自民） |
| 岡本 修（民主）     | 西田 昭紘（民主） |
| 村井 宣夫（21'道民） | 政氏 雅（公明）  |
| 上田 茂（新道政）    |           |

- 諸派の本委員会及び理事会の出席について
    - 委員外議員として出席を認める。
    - 本日から萩原信宏議員（共産）が出席することを報告。
    - 橋浪蔵議員（改革）及び渋谷澄夫議員（新社）から、委員外議員として出席はしないが、決定事項については遵守する旨の申出があったことを報告。
  - 委員席及び委員外議員席について
    - ただ今着席のとおりとする。
  - 一般質問について
    - 明日5名行い、その後の進め方については改めて協議する。
  - 本日の再開後の本会議について
    - 特別委員会終了後に再開する。
- 総務部長からあいさつ。  
（午前11時12分散会。午後3時8分再開。）
- 意見案の取扱いについて
    - 意見案第1号の提出があった旨報告。
    - 急施を要することから、再開後の本会議において、一般質問の前に日程に追加し議決する。
  - 本日の再開後の本会議議事順序について
    - 事務局長説明のとおりとする。

○6月26日（木） 開議 午前9時45分  
散会 午後3時46分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友（自民）

- 会派異動届について
  - 21'道民及び新道政から、6月25日付をもって役員の異動届が提出された旨報告。
  - 配付別紙のとおり各派役員名簿を整理した旨報告。
- 昨日の釣部勲議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - 総務部長から、主任制問題の教育長の答弁準備について、今しばらく時間を頂きたい旨発言。
  - 本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。  
（午前9時46分休憩、午後3時45分再開。）
- 釣部議員の再質問に対する答弁準備の状況について
  - 総務部長から、教育長から本日中に答弁することが難しいとの申出があった旨発言。

- ・本日の本会議は日程を延期し延会する。

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

○6月27日（金） 開議 午前9時45分  
散会 午後2時11分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友（自民）

- 6月25日の釣部勲議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、今しばらく時間を頂きたい旨発言。
  - ・本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。  
（午前9時46分休憩、午後2時8分再開。）
- 釣部議員の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、教育長より答弁準備が整ったとの申出があった旨発言。
  - ・本会議は釣部議員の再質問に対する教育長の答弁から入る。
- 一般質問について
  - ・通告内容等の変更について了承。
  - ・本日釣部議員の継続ほか2名、6月30日4名行う。
- 6月30日の本会議開会時間及び副知事の本会議欠席について
  - ・総務部長から、知事は北海道開発体制機能の維持・充実に関する中央要請及びフジモリ・ペルー大統領の北海道訪問に関するペルー大使館への対応のため、6月30日（月）の本会議の開会時間について配慮願いたい旨及び真田副知事は北海道開発体制機能の維持・充実に関する中央要請を引き続き行うため、6月30日の本会議を欠席したい旨発言。
  - ・6月30日の本会議開会時間を午後2時と決定。
  - ・真田副知事の本会議欠席については了承。
- 総合開発調査特別委員長及び副委員長の本会議欠席について
  - ・北海道開発体制機能の維持・充実に関する中央要請のため6月30日の本会議を欠席する旨了承。
- 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。

○6月30日（月） 開議 午後2時35分  
散会 午後4時30分

- 6月27日の加藤礼一議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、今しばらく時間を頂きたい旨発言。
  - ・本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。
- 追加提出予定案件について
  - ・総務部長から説明。
  - ・7月1日の追加提出について了承。  
（午後2時36分休憩、午後4時29分再開。）
- 加藤礼一議員の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、本日中に答弁することは難しい状況である旨発言。
  - ・本日の本会議は日程を延期し延会する。

○7月1日（火） 開議 午前10時41分  
散会 午前10時43分  
議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 6月27日の加藤礼一議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から答弁準備が整った旨発言。
  - ・本会議は加藤礼一議員の再質問に対する知事の答弁から入る。
- 追加提出議案について
  - ・総務部長から発言。
  - ・本日提出を受けることとし、知事の提案説明の時期については改めて協議する。
- 一般質問について
  - ・通告内容等の変更について了承。
  - ・本日加藤礼一議員の継続ほか7名、明日7名行い、その後の進め方については改めて協議する。
- 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。

○7月2日（水） 開議 午前9時59分  
散会 午後4時33分  
議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 追加提出議案について
  - ・本日の本会議冒頭において知事の提案説明を

行う。

委員長 和田 敬友（自民）

2 一般質問について

- ・ 通告内容等の変更について了承。
- ・ 今後の日程を以下のように変更し、本日7名、明日7名行う。

7月2日 本会議（一般質問）  
3日 本会議（一般質問、企業  
会計決算特別委員会設置）  
4日 本会議

3 本日の本会議議事順序について

- ・ 事務局長説明のとおりとする。  
（午前10時1分散会。午後4時32分再開。）

4 理事者からの発言について

- ・ 総務部長から蝦名清悦議員（民主）の答弁について準備中であり、本日中午に準備を整えるのは難しい状況にある旨発言。
- ・ 本日の本会議はこの程度にとどめ延会する。

○7月3日（木） 開議 午前9時48分  
散会 午後1時46分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友（自民）

1 蝦名清悦議員（民主）の答弁準備について

- ・ 総務部長から、今少し時間を頂きたい旨発言。

2 水産林務委員長及び副委員長の本会議欠席について

- ・ 日韓及び日中の新漁業協定の締結に関する中央要請のため、本日の本会議を欠席する旨了承。

（午前9時49分休憩、午後1時44分再開。）

3 蝦名議員の答弁準備について

- ・ 総務部長から、答弁準備が整った旨発言。
- ・ 本会議は蝦名議員の一般質問から入る。

4 一般質問について

- ・ 今後の日程を変更し、明日も一般質問を行うこととし、本日7名、明日5名行う。

5 議員控室の取扱いについて

- ・ 4階の第3共用会議室を自民議員控室とすることを了承。

6 本日の本会議議事順序について

- ・ 事務局長説明のとおりとする。

○7月4日（金） 開議 午前9時43分  
散会 午後7時12分  
議会運営委員会室

1 一般質問について

- ・ 通告内容等の変更について了承。
- ・ 本日4名行う。

2 企業会計決算特別委員会について

- ・ 本日一般質問終了後設置する。
- ・ 配付資料の名簿のとおり委員を選任する。

3 議案の各委員会付託について

- ・ 事務局長説明のとおりとする。

4 本日の本会議の進め方について

- ・ 一般質問終了後、企業会計決算特別委員会を設置し、各議案の委員会付託を行った後、本会議を一旦休憩し、関係委員会の審査終了後、本会議を再開することを了承。
- ・ 再開後の本会議の進め方については改めて協議する。

5 本日の本会議議事順序について

- ・ 事務局長説明のとおりとする。  
（午前9時45分休憩、午後7時2分再開。）

6 各委員会付託議案の審議状況について

- ・ 総務6件、建設7件、水産林務2件、文教10件、以上25件については、すべて議了した旨報告。
- ・ 企業会計決算特別委員会において審査中の報告第33号ないし第36号については、本日の委員会で継続審査とすることに決定した旨報告。

7 追加提出議案について

- ・ 総務部長から説明。
- ・ 人事案件については、本日の本会議において日程に追加し議決する。
- ・ 国土利用計画の北海道計画の変更に関する件については、総合開発調査特別委員会に付託し、閉会中継続審査とする。

8 北海道総合開発計画に関する道意見案について

- ・ 丸山副知事から説明。
- ・ 議会として調査を行うこととし、本日の本会議において知事の発言を聴取した後、調査事件を「北海道総合開発計画に関する道意見案（第3次北海道長期総合計画基本計画案）調査の件」として、総合開発調査特別委員会に付託し、議会において調査終了を議決するまで継続調査を行う。

9 苫小牧港管理組合議会議員、石狩東部広域水道企業団議会議員、石狩湾新港管理組合議会議員

員及び石狩西部広域水道企業団議会議員の補欠選挙について

- ・管理者及び企業長から知事を経由して、議長に対し議員辞職による欠員が生じたため補欠選挙願いたい旨の申出があり、議長は各会派会長会議を開催し協議を行った結果、配分及び補充員の推せんについて決定した旨並びに配付別紙のとおり関係会派から推せんがあった旨報告。
  - ・選挙については本日の本会議において日程に追加して行う。
  - ・選挙の方法は指名推選により、指名の方法は議長において指名する。
- 10 議決案の取扱いについて
- ・議決案第1号の提出があった旨報告。
  - ・本日の本会議において日程に追加し議決する。
- 11 意見案の取扱いについて
- ・意見案第2号ないし第6号の提出があった旨報告。
  - ・本日の本会議において日程に追加し議決する。
- 12 閉会中継続調査申出の件について
- ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。
- 13 本日の再開後の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。

## 常任委員会

委員会条例改正前

### 総務委員会

○5月6日（火） 開議 午後2時37分  
散会 午後3時37分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸（自民）

#### 一般議事

- ① 総務部長から、確認監査及び道の確認調査の結果に係る職員の処分について報告。
- ② 行政管理室長から、支庁林務課及び支庁耕地課における「賃金執行状況調査」の結果について報告。  
原田裕委員（自民）から質疑及び意見

○5月29日（木） 開議 午前10時12分  
散会 午前11時4分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸（自民）

#### 一般議事

- ① 行政管理室長から「道政改革の実施方針」について報告。
- ② 行政管理室長から、「不祥事の再発防止のための改善プログラム」について報告。  
原田裕委員（自民）から質疑及び意見

## 生活福祉委員会

○5月6日（火） 開議 午後2時35分  
散会 午後4時17分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

#### 請願・陳情の審査

##### 陳情第15号

障害者地域共同作業所に対する運営費補助に関する件 （議決不要）

##### 請願第80号

女性施策、特に性暴力被害者保護等の施策の推進に関する件 （継続審査）

石川十四夫委員（新道政）から質疑及び要望

請願第85号

児童福祉法の「改正」に関する政府への意見  
書提出を求める件 (継続審査)

大橋晃委員 (共産) から質疑

一 般 議 事

- ① 佐藤英道委員 (公明) から質疑  
心身障害者地域共同作業所の運営について
- ② 大橋晃委員 (共産) から質疑  
テレホンクラブ等の規制について

保 健 環 境 委 員 会

○5月6日 (火) 開議 午後2時10分  
散会 午後2時54分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一 (民主)

請願・陳情の審査

陳情第16号

障害者地域共同作業所に対する運営費補助に  
関する件 (議決不要)

一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、北海道の水道水源の保全  
についての基本的な考え方に関する北海道環境  
審議会からの答申について報告。
- ② 萩原信宏委員 (共産) から質疑
  - (1) オリマルジョンと環境保全について
  - (2) 野幌森林公園の整備について

商工労働観光委員会

○5月6日 (火) 開議 午後2時11分  
散会 午後2時37分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄 (民主)

一 般 議 事

- ① 冬期雇用安定奨励金及び冬期技能講習助成給  
付金制度の改善充実に関する中央折衝の実施概  
要の報告を了承。
- ② 公営企業管理者から、不正経理に係る職員の  
処分について報告。
- ③ 井野厚委員 (民主) から質疑  
拓銀と道銀の合併について

農 政 委 員 会

○5月6日 (火) 開議 午後2時48分  
散会 午後5時5分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄 (自民)

一 般 議 事

- ① 平成9年産麦価に関する中央折衝の実施を決  
定。
- ② 農政部長から、支庁耕地関係賃金の執行状況  
について報告。  
船橋利実委員 (自民)、土田弘委員 (民主) 及  
び岡田俊之委員 (民主) から質疑及び要望
- ③ 農政部長から、北海道畑作の振興方策につい  
て報告。
- ④ 土田弘委員 (民主) から質疑及び要望  
農村における農家人口、農地面積、戸数及び  
人口密度の考え方について
- ⑤ 村井宣夫委員 (21'道民) から質疑及び要望
  - (1) ウルグアイ・ラウンド対策農業予算につい  
て
  - (2) 新農業基本法について
  - (3) 政府備蓄米について
  - (4) 豚の口蹄疫について

建 設 委 員 会

○5月6日 (火) 開議 午後2時12分  
散会 午後2時21分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一 (自民)

請願・陳情の審査

請願第75号

道営住宅に関する件 (議決不要)

請願第78号

公営住宅条例「改正」などに関する件  
(議決不要)

請願第87号

公営住宅条例改正などに関する件  
(議決不要)

一 般 議 事

- ① 住宅都市部長から、北海道住宅マスタープラ  
ンの策定について報告。

## 水産林務委員会

○5月6日(火) 開議 午後3時  
散会 午後4時53分  
第5委員会室  
委員長 大島 一郎(民主)

### 一般議事

- ① 第48回北海道植樹祭に参加することを決定。
- ② 林務部長から、支庁林務課における賃金執行状況調査の結果について報告。  
工藤敏郎委員(自民)、鯉谷忠委員(民主)、山口真人委員(自民)及び中川隆之委員(自民)から質疑及び意見

## 文教委員会

○5月6日(火) 開議 午後2時16分  
散会 午後3時45分  
第9委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

### 請願・陳情の審査

請願第83号

道立埋蔵文化財センターの整備に関する件  
(議決不要)

### 一般議事

- ① 教育長及び企画管理部長から、教育庁の組織機構見直しについて説明。  
鎌田公浩委員(自民)、蝦名清悦委員(民主)及び森成之委員(公明)から質疑
- ② 教育長から、不祥事に係る職員の処分について報告。
- ③ 教育長から、確認監査及び予算執行状況確認調査結果に係る職員の処分について報告。
- ④ 教育長から、全企画管理部次長の不祥事について報告。

## 委員会条例改正後

## 総務委員会

○6月3日(火) 開議 午後1時22分  
散会 午後1時38分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長から、支庁林務課及び支庁耕地課における「賃金執行状況調査」の結果にかかる職員の処分について報告。
- ② 総務部長から、札幌医科大学大学院保健医療学研究科(修士課程)の設置について説明。

○6月16日(月) 開議 午前10時46分  
散会 午前11時20分  
第10委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

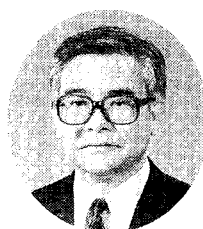
### 一般議事

- ① 総務部長から、平成9年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、苫小牧沖の貨物船衝突事故について報告。
- ③ 札幌医科大学事務局長から「札幌医科大学における医療材料の管理の実態調査」等について報告。  
清水誠一委員(自民)から質疑及び要望
- ④ 委員交代に伴う引継事項について決定。

○6月25日(水) 開議 午前11時28分  
散会 午後零時4分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に野呂善市委員(自民)、副委員長に段坂繁美委員(民主)を選出。



野呂善市委員長



段坂繁美副委員長

- ② 理事に船橋利実委員(自民)、沢岡信広委員(民主)、水野重男委員(21'道民)、伊藤武一委員(公明)、木村澄男委員(新道政)を選出。

#### 一般議事

- ① 議席を決定。  
 ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
 ③ 総務部長、総合企画部長、警察本部総務部長、出納局長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長及び監査委員事務局長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日(金) 開議 午後3時40分  
 散会 午後4時7分  
 第10委員会室  
 委員長 野呂 善市(自民)

#### 付託案件の審査

##### 議案第1号

北海道恩給条例の臨時特例等の一部を改正する条例案 (原案可決)

##### 議案第2号

北海道税条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

##### 議案第5号ないし議案第8号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

#### 一般議事

- ① 北海道納税推進運動本部委員に船橋利実委員(自民)、沢岡信広委員(民主)、水野重男委員(21'道民)、伊藤武一委員(公明)及び木村澄男委員(新道政)を推薦。  
 ② 総務部長、総合企画部長及び警察本部総務部長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。  
 ③ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
 ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
 ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。  
 ⑥ 湯佐利夫委員(自民)から意見及び要望  
 北海道職員の勤続30年表彰及び昇任試験について

## 環境生活委員会

○6月3日(火) 開議 午後1時15分  
 散会 午後1時30分  
 第3委員会室  
 委員長 大内 良一(民主)

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に大内良一委員(民主)、副委員長に加藤和久委員(自民)を選出。



大内良一委員長



加藤和久副委員長

- ② 本委員会における理事会の設置及び理事の選出、議席等、今後の委員会運営の方法については、廃止された保健環境委員会と同様の扱いとすることに決定。

#### 一般議事

- ① 本委員会の所管事務調査事項について決定。  
 (1) 環境の保全に関する事項  
 (2) 道民の日常生活の安定向上に関する事項  
 ② 本委員会に付託された請願・陳情については、別紙配布資料のとおり。  
 ③ 環境生活部長から、所管事務の概要について説明。

○6月16日(月) 開議 午前10時34分  
 散会 午前11時8分  
 第3委員会室  
 委員長 大内 良一(民主)

#### 一般議事

- ① 環境生活部長から、道有施設等におけるフロン等対策ガイドラインの策定について報告。  
 ② 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。  
 ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑  
 廃材焼却炉とダイオキシン問題について

○6月25日(水) 開議 午前11時26分  
 散会 午前11時50分  
 第3委員会室



委員長 長沢 徹（民主）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に長沢徹委員（民主）、副委員長に本間勲委員（自民）を選出。



長沢 徹委員長



本間 勲副委員長

- ② 理事に鎌田公浩委員（自民）、蝦名清悦委員（民主）を選出。

なお、新社会党はオブザーバーの扱いとすることを決定。

### 一般議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 環境生活部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日（金） 開議 午後3時40分  
散会 午後3時58分  
第7委員会室  
委員長 長沢 徹（民主）

### 一般議事

- ① 北海道青少年問題協議会委員に、鎌田公浩委員（自民）、渋谷澄夫委員（新社）を推薦。  
北海道環境審議会委員に、清水誠一委員（自民）、蝦名清悦委員（民主）を推薦。  
北海道自然環境保全審議会委員に、本間勲副委員長（自民）、小原葉子委員（民主）を推薦。  
② 環境生活部長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。  
③ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
④ 環境生活部長から、北海道道民生活安定条例施行状況について説明。  
⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 保健福祉委員会

○6月3日（火） 開議 午後1時18分  
散会 午後1時40分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に風早俊男委員（21'道民）、副委員長に川尻秀之委員（自民）を選出。



風早俊男委員長



川尻秀之副委員長

- ② 本委員会における理事会の設置及び理事選出、議席等、今後の委員会運営の方法については、廃止された生活福祉委員会と同様の扱いとすることに決定。

### 一般議事

- ① 本委員会の所管事務調査事項について決定。  
（1）保健衛生に関する事項  
（2）社会福祉及び社会保障に関する事項  
② 本委員会に付託された請願・陳情については、別紙配布資料のとおり。  
③ 保健福祉部長から、所管事務の概要について説明。  
石川十四夫委員（新道政）から質疑  
老人保健施設を建設する場合の担当課について

○6月16日（月） 開議 午前10時32分  
散会 午前11時40分  
第7委員会室  
委員長 風早 俊男（21'道民）

### 請願・陳情の審査

#### 請願第85号

児童福祉法の「改正」に関する政府への意見書提出を求める件（議決不要）

### 一般議事

- ① 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。  
② 佐藤英道委員（公明）から質疑

機構改革に伴う保健・医療・福祉の連携について

③ 大橋晃委員（共産）から質疑

- (1) O-157対策について
- (2) 地域医療・保健について

○6月25日（水） 開議 午前11時40分  
散会 午後零時12分  
第7委員会室  
委員長 吉田 恵悦（公明）

正副委員長の互選

- ① 委員長に吉田恵悦委員（公明）、副委員長に釣部勲委員（自民）を選出。



吉田恵悦委員長



釣部 勲副委員長

- ② 理事に水城義幸委員（自民）、林大記委員（民主）、山田驍太郎委員（新道政）を選出。

一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 保健福祉部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日（金） 開議 午後3時33分  
散会 午後3時48分  
第7委員会室  
委員長 吉田 恵悦（公明）

一般議事

- ① 北海道地方社会福祉審議会委員に、高橋定敏委員（自民）、林大記委員（民主）を推薦。

北海道児童福祉審議会委員に、吉田恵悦委員長（公明）、野村義次委員（自民）を推薦。

北海道国民健康保険審査会委員に、水城義幸委員（自民）を推薦。

北海道医療審議会委員に、釣部勲委員（自民）を推薦。

北海道献血推進協議会委員に、山口恵聖委員（民主）、山田驍太郎委員（新道政）を推薦。

- ② 保健福祉部長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。

- ③ 保健福祉部長から、公衆浴場入浴料金の統制額の改定について説明。

- ④ 保健福祉部長から、平成9年度サハリン地域（樺太）墓参について説明。

- ⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 経 済 委 員 会

○6月3日（火） 開議 午後1時34分  
散会 午後1時48分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄（民主）

一般議事

- ① 経済部長から、「季節労働者の通年雇用に関する建議」について報告。
- ② 経済部長から、平成8年度における本道観光客入込み数調査の概要について説明。

○6月16日（月） 開議 午前10時33分  
散会 午前10時37分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄（民主）

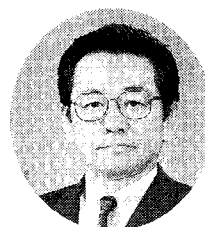
一般議事

- ① 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

○6月25日（水） 開議 午前11時37分  
散会 午後零時13分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

正副委員長の互選

- ① 委員長に柏倉勝雄委員（民主）、副委員長に丸岩公充委員（自民）を選出。



柏倉勝雄委員長



丸岩公充副委員長

- ② 理事に川村正委員（自民）、滝口信喜委員（民主）、風早俊男委員（21'道民）、森成之委員（公明）、石川十四夫委員（新道政）を選出。

なお、共産党はオブザーバーの扱いとすることを決定。

#### 一般議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 経済部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日（金） 開議 午後3時37分  
散会 午後3時48分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

#### 一般議事

- ① 先端技術産業等の立地に関する専門委員会の特別委員に、柏倉勝雄委員長（民主）、丸岩公充副委員長（自民）を推薦。  
② 経済部長及び企業局長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。  
③ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

### 農政委員会

○6月3日（火） 開議 午後1時21分  
散会 午後1時40分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄（自民）

#### 一般議事

- ① 農政部長から、農作物の生育状況について報告。  
② 村井宣夫委員（21'道民）から質疑及び要望  
財政構造改革におけるウルグアイ・ラウンド  
対策関連事業の見直しについて

○6月16日（月） 開議 午前10時34分  
散会 午前11時39分  
第6委員会室  
委員長 佐藤 時雄（自民）

#### 一般議事

- ① 平成9年産麦の政府買入価格に関する中央折

衝の実施概要の報告を了承。

- ② 農政部長から、平成9年産麦の政府買入価格について報告。  
③ 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。  
④ 船橋利実委員（自民）から質疑及び要望  
家畜の糞尿処理と河川等環境問題について

○6月25日（水） 開議 午前11時25分  
散会 午前11時44分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に石井孝一委員（自民）、副委員長に平出陽子委員（民主）を選出。



石井孝一委員長



平出陽子副委員長

- ② 理事に工藤敏郎委員（自民）、岡田俊之委員（民主）、村井宣夫委員（21'道民）、政氏雅委員（公明）、瀬能晃委員（新道政）を選出。

#### 一般議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 農政部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日（金） 開議 午後3時34分  
散会 午後3時48分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

#### 一般議事

- ① 農政部長から、平成10年度農業関係国費予算要望事項について説明。  
② 平成10年度農業関係国費予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。  
④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 建設委員会

散会 午後5時17分

第4委員会室

委員長 高橋 文明（自民）

○6月3日（火） 開議 午後1時19分  
散会 午後1時29分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一（自民）

### 一般議事

- ① 道路特定財源制度の堅持等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

○6月16日（月） 開議 午前10時40分  
散会 午前10時50分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一（自民）

### 一般議事

- ① 建設部長から、平成9年第2回定例会提出予定案件について説明。  
② 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

○6月25日（水） 開議 午前11時38分  
散会 午後零時2分  
第4委員会室  
委員長 高橋 文明（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋文明委員（自民）、副委員長に板谷實委員（21'道民）を選出。



高橋文明委員長



板谷 實副委員長

- ② 理事に山崎正隆委員（自民）、星野高志委員（民主）、荒島仁委員（公明）、前田康吉委員（新道政）を選出。

### 一般議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 建設部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日（金） 開議 午後4時26分

### 付託案件の審査

#### 議案第3号

空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
（原案可決）

#### 議案第4号

北海道道の路線の認定に関する件  
（原案可決）

#### 議案第11号及び議案第12号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）

#### 議案第23号ないし議案第25号

工事委託契約の締結に関する件（原案可決）

### 一般議事

- ① 北海道開発審査会委員、北海道建築審査会委員及び沙流川総合開発事業審議委員会委員に、高橋文明委員長（自民）を推薦。

北海道住宅対策審議会委員に、高橋文明委員長（自民）、山崎正隆委員（自民）、星野高志委員（民主）、荒島仁委員（公明）を推薦。

北海道住宅供給公社運営委員会委員に、板谷實副委員長（21'道民）、高木繁光委員（自民）を推薦。

北海道土地開発公社土地開発推進委員会委員に、高橋文明委員長（自民）、星野高志委員（民主）を推薦。

北海道道路利用者会議委員に、委員全員を推薦。

- ② 道路特定財源堅持等に関する意見案の発議を決定。  
③ 上記意見案に関する中央折衝の実施を決定。  
④ 建設部長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項の概要について説明。  
⑤ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
⑥ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
⑦ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。  
⑧ 建設部長から、北海道住宅供給公社問題について報告。  
佐藤寿雄委員（自民）及び高木繁光委員（自民）から質疑、意見及び要望

## 水産林務委員会

○6月3日(火) 開議 午後1時18分  
散会 午後1時35分  
第5委員会室  
委員長 大島 一郎(民主)

### 一般議事

- ① 200海里確立全国漁民代表者緊急集会及び北海道立漁業研修所開所式参加報告を了承。
- ② 山口真人委員(自民)から質疑及び意見
  - (1) 水産林務部について
  - (2) 道有林野事業について

○6月16日(月) 開議 午前10時27分  
散会 午前10時36分  
第5委員会室  
委員長 大島 一郎(民主)

### 一般議事

- ① 水産林務部長から、平成9年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 第48回北海道植樹祭の参加の報告を了承。
- ③ 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。
- ④ 山口真人委員(自民)から要望  
道有林野事業について

○6月25日(水) 開議 午前11時27分  
散会 午前11時49分  
第5委員会室  
委員長 小池 昌(民主)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に小池昌委員(民主)、副委員長に川尻秀之委員(自民)を選出。



小池 昌委員長



川尻秀之副委員長

- ② 理事に伊東良孝委員(自民)、西田昭紘委員(民主)、西村慎一委員(21'道民)を選出。  
なお、共産党及び改革はオブザーバーの扱いとすることを決定。

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 水産林務部長から、所管事務の概要について説明。

○7月2日(水) 開議 午後零時4分  
散会 午後零時25分  
第5委員会室  
委員長 小池 昌(民主)

### 一般議事

- ① 水産林務部長から、日韓及び日中の漁業協定交渉について報告。
- ② 日韓及び日中の新漁業協定の締結に関する要望を決定。
- ③ 日韓及び日中の新漁業協定の締結に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 橋浪蔵委員(改革)から質疑、意見及び要望  
苦小牧沖の貨物船衝突による重油流失事故について

○7月4日(金) 開議 午後3時41分  
散会 午後4時15分  
第5委員会室  
委員長 小池 昌(民主)

### 付託案件の審査

議案第9号及び議案第10号

工事請負契約の締結に関する件(原案可決)

### 一般議事

- ① 水産林務部長から平成10年度水産林務関係国費予算要望事項について説明。
- ② 平成10年度水産林務関係国費予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 水産林務部長から、歯舞群島付近における銃撃事件について報告。  
小池昌委員長(民主)から意見  
事件の再発防止について
- ④ 請願・陳謝について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ⑥ 大橋晃委員(共産)から質疑、意見及び要望  
埋蔵文化財センター建設に係る保安林解除について

## 文 教 委 員 会

○6月3日(火) 開議 午後1時33分  
散会 午後2時5分  
第9委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

### 一 般 議 事

- ① 企画総務部長から、不祥事の再発防止のための改善プログラムの推進状況について報告。  
中川義雄委員(自民)から質疑

○6月16日(月) 開議 午前10時37分  
散会 午前10時44分  
第9委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

### 一 般 議 事

- ① 教育長から、平成9年第2回定例会提出予定案件について説明。  
② 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

○6月25日(水) 開議 午前11時37分  
散会 午後零時4分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に山口幸太郎委員(自民)、副委員長に上田茂委員(新道政)を選出。



山口幸太郎委員長



上田 茂副委員長

- ② 理事に原田裕委員(自民)、吉田栄委員(民主)、大裕和則委員(21'道民)、佐藤英道委員(公明)を選出。

### 一 般 議 事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 教育長、企画総務部長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日(金) 開議 午後3時40分  
散会 午後3時55分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎(自民)

### 付託案件の審査

議案第13号ないし議案第22号

工事請負契約の締結に関する件(原案可決)

### 一 般 議 事

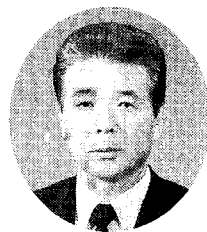
- ① 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見案の発議を決定。  
② 教育長、企画総務部長及び学事課長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項について説明。  
③ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施について決定。  
④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。  
⑥ 喜多龍一委員(自民)から要望総合学科について  
⑦ 「教育行政の当面する諸課題に関する件」を議題とする委員会協議会の開催を決定。

# 特 別 委 員 会

## 総合開発調査特別委員会



佐藤時雄委員長



伊藤政信副委員長

○5月7日(水) 開議 午後零時5分  
散会 午後零時30分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇(自民)

- ① 大橋晃委員(共産)から質疑及び意見  
リゾート開発について

○6月4日(水) 開議 午前10時37分  
散会 午前11時32分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇(自民)

- ① 加藤和久委員(自民)から質疑及び意見  
(1) 函館・ユジノサハリンスク線について  
(函館・ユジノサハリンスクを結ぶ国際定期航  
路の存続に関する中央折衝の実施を決定)  
(2) 新しい総合計画について  
② 大橋晃委員(共産)から質疑及び意見  
(1) 苫小牧東部地域開発について  
(2) 千歳川放水路計画について

○6月16日(月) 開議 午後2時29分  
散会 午後2時51分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇(自民)

- ① 函館・ユジノサハリンスクを結ぶ国際定期航  
路の存続に関する中央折衝の実施概要の報告を  
了承。  
② 総合企画部長から、新計画の策定状況につ  
いて説明。  
③ 大橋晃委員(共産)から質疑及び要望  
時のアセスメントについて

○6月25日(水) 開議 午後1時30分  
散会 午後1時48分  
第1委員会室  
委員長 佐藤 時雄(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に佐藤時雄委員(自民)、副委員長に伊  
藤政信委員(民主)を選出。

- ② 理事に川尻秀之委員(自民)、竹内英順委員(自  
民)、段坂繁美委員(民主)、沢岡信広委員(民  
主)、西村慎一委員(21'道民)、荒島仁委員(公  
明)、瀬能晃委員(新道政)を選出。

なお、共産党はオブザーバーの扱いとすること  
を決定。

### その他の議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受  
けた旨報告。  
③ 総合企画部長から、所管事務の概要について  
説明。

○7月4日(金) 開議 午後5時38分  
散会 午後5時56分  
第1委員会室  
委員長 佐藤 時雄(自民)

- ① 総合企画部長から、国土利用計画(北海道計  
画)の変更について説明。  
② 総合企画部長から、北海道総合開発計画に関  
する道意見案(第3次北海道長期総合計画基本  
計画案)について説明。  
③ 総合企画部長から、日露航空交渉の結果につ  
いて説明。  
④ 総合企画部長から、平成10年度北海道開発関  
係予算要望事項について説明。  
⑤ 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関  
する中央折衝の実施を決定。

## 産炭地域振興対策特別委員会

○5月7日(水) 開議 午前10時12分  
散会 午前10時16分  
第10委員会室  
委員長 鈴木 泰行(民主)

- ① 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実  
施概要の報告を了承。

- 6 月 4 日（水） 開議 午前10時16分  
散会 午前10時35分  
第10委員会室  
委員長 鈴木 泰行（民主）
- ① 経済部長から、平成9年度の国内炭生産数量及び基準炭価について報告。
  - ② 石川十四夫委員（新道政）から質疑及び要望  
産炭地域振興実施計画の進捗状況について

- 6 月16日（月） 開議 午後1時35分  
散会 午後1時40分  
第10委員会室  
委員長 鈴木 泰行（民主）
- ① 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。
- 6 月25日（水） 開議 午後2時8分  
散会 午後2時21分  
第10委員会室  
委員長 石川 十四夫（新道政）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に石川十四夫委員（新道政）、副委員長に伊東良孝委員（自民）を選出。



石川十四夫委員長



伊東良孝副委員長

- ② 理事に丸岩公充委員（自民）、西田昭紘委員（民主）、村井宣夫委員（21'道民）、吉田恵悦委員（公明）を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 経済部長から、所管事務の概要について説明。

- 7 月 4 日（金） 開議 午後4時56分  
散会 午後5時3分  
第10委員会室  
委員長 石川 十四夫（新道政）
- ① 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書の発議及び中央折衝の実施を決定。

- ② 来道する衆議院石炭対策特別委員会の実情聴取に際し、石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する要望をすることを決定。
- ③ 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施を決定。
- ④ 産炭地域六団体連絡協議会による代表者大会及び中央折衝の実施を決定。

### 北方領土対策特別委員会

- 5 月 7 日（水） 開議 午前10時40分  
散会 午前10時53分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）
- ① 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。
  - ② 北方四島訪問団の団員推薦を決定。
  - ③ 領対本部長から、北方四島交流施設について説明。  
島山博委員（自民）及び舟山広治委員（民主）から質疑及び要望

- 6 月 4 日（水） 開議 午前10時25分  
散会 午前10時39分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）
- ① 領対本部長から、北方四島交流事業の実施結果について報告。
  - ② 北方四島交流事業の実施概要の報告を了承。
  - ③ 北方領土返還促進に関する中央折衝及び国会請願の実施を決定。
  - ④ 領対本部長から、「北方領土問題に関する意見・提言」に対する取組み状況について報告。

- 6 月16日（月） 開議 午後1時22分  
散会 午後1時32分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）
- ① 領対本部長から、北方四島交流事業の実施結果について報告。
  - ② 北方領土返還促進に関する中央要請及び国会請願の実施概要の報告を了承。
  - ③ 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

- 6 月25日（水） 開議 午後1時28分



散会 午後1時48分  
第3委員会室  
委員長 高橋 定敏（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋定敏委員（自民）、副委員長に小原葉子委員（民主）を選出。



高橋定敏委員長



小原葉子副委員長

- ② 理事に喜多龍一委員（自民）、蝦名清悦委員（民主）、大裕和則委員（21'道民）、伊藤武一委員（公明）、上田茂委員（新道政）を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 総務部長及び水産林務部長から、所管事務の概要について説明。  
④ 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。  
⑤ 北方四島訪問団の団員推薦を決定。

○7月4日（金） 開議 午後5時40分  
散会 午後5時52分  
第3委員会室  
委員長 高橋 定敏（自民）

- ① 北方領土問題の解決促進に関する意見書の発議を決定。  
② 漁業管理課長から、歯舞群島付近における銃撃事件について報告。  
③ 領対本部長から、北方四島交流事業の実施概要について説明。  
④ 領対本部長から、平成10年度北方領土対策関係予算要望事項の概要について説明。  
⑤ 平成10年度北方領土対策関係国費予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。  
⑥ 領対本部長から、北方領土返還要求運動強調月間の実施について説明。

## エネルギー問題調査特別委員会

○6月4日（水） 開議 午前10時53分  
散会 午前11時4分  
第10委員会室

委員長 勝木 省三（自民）

- ① 経済部長から、本道における天然ガス開発の概要について報告。

見延順章委員（自民）から質疑

○6月16日（月） 開議 午後1時16分  
散会 午後1時20分  
第10委員会室

委員長 勝木 省三（自民）

- ① 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

○6月25日（水） 開議 午後1時25分  
散会 午後1時39分  
第10委員会室

委員長 畠山 博（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に畠山博委員（自民）、副委員長に風早俊男委員（21'道民）を選出。



畠山 博委員長



風早俊男副委員長

- ② 理事に加藤礼一委員（自民）、山口幸太郎委員（自民）、星野高志委員（民主）、岡本修委員（民主）、政氏雅委員（公明）、木村澄男委員（新道政）を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。  
② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。  
③ 経済部長から、所管事務の概要について説明。

## 交通安全対策特別委員会

○5月7日（水） 開議 午前10時17分

散会 午前10時40分

第2委員会室

委員長 佐々木 隆博(民主)

- ① 生活福祉部長から、シートベルト着用推進キャンペーン事業の実施について説明。
- ② 警察本部交通部長から、春の全国交通安全運動期間中における事故概況について報告。
- ③ 警察本部交通部長から、平成8年度冬期スリップ事故の発生状況について報告。

○6月4日(水) 開議 午前10時15分

散会 午前10時22分

第2委員会室

委員長 佐々木 隆博(民主)

- ① 警察本部交通部長から、改正道路交通法の概要について説明。

○6月16日(月) 開議 午後1時18分

散会 午後1時26分

第2委員会室

委員長 佐々木 隆博(民主)

- ① 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。

○6月25日(月) 開議 午後1時33分

散会 午後1時58分

第2委員会室

委員長 森 敏捷(民主)

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に森敏捷委員(民主)、副委員長に見延順章委員(自民)を選出。



森 敏捷委員長



見延順章副委員長

- ② 理事に野村義次委員(自民)、米沢一喜委員(自民)、林大記委員(民主)、吉田栄委員(民主)、板谷實委員(21'道民)、佐藤英道委員(公明)、山田驍太郎委員(新道政)を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受

けた旨報告。

- ③ 環境生活部長及び警察本部交通部長から、所管事務の概要について説明。

○7月4日(月) 開議 午後5時31分

散会 午後5時40分

第2委員会室

委員長 森 敏捷(民主)

- ① 環境生活部長、警察本部交通部長から、平成10年度北海道開発関係予算要望事項について説明。
- ② 平成10年度北海道開発関係予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 警察本部交通部長から、平成9年上半期の交通事故概況について説明。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

#### 地方分権・行政改革問題調査特別委員会

○5月7日(水) 開議 午前10時28分

散会 午前10時47分

第1委員会室

委員長 西村 慎一(21'道民)

- ① 萩原信宏委員(共産)から質疑  
外国人の地方公務員採用問題について
- ② 西村慎一委員長(21'道民)から、憲法・地方自治法施行50周年記念フォーラムに出席することを報告。

○6月4日(水) 開議 午前11時58分

散会 午後零時50分

第1委員会室

委員長 西村 慎一(21'道民)

- ① 総務部長からね道政改革の実施方針及び不祥事の再発防止のための改善プログラムについて説明。  
萩原信宏委員(共産)から質疑、及び意見
- ② 佐藤英道委員(公明)から質疑、意見及び要望
  - (1) 地方分権について
  - (2) 情報公開制度について

○6月16日(月) 開議 午後1時42分

散会 午後2時18分

## 第1委員会室

委員長 西村 慎一(21'道民)

- ① 「地方分権・行政改革の推進に関する提言」を決定。
- ② 委員交代に伴う引継ぎ事項について決定。
- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑、意見及び要望

情報公開制度について

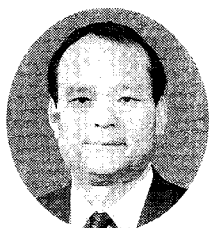
○6月25日(水) 開議 午後2時15分  
散会 午後2時35分  
第1委員会室  
委員長 井野 厚(民主)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に井野厚委員(民主)、副委員長に加藤和久委員(自民)を選出。



井野 厚委員長



加藤和久副委員長

- ② 理事に川村正委員(自民)、佐藤寿雄委員(自民)、滝口信喜委員(民主)、岡田俊之委員(民主)、水野重雄委員(21'道民)、森成之委員(公明)、前田康吉委員(新道政)を選出。

なお、共産党はオブザーバーの扱いとすることを決定。

### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 総合企画部長及び総務部長から、所管事務の概要について説明。

## 北海道部設置条例審査特別委員会

○4月2日(水) 開議 午後8時52分  
散会 午後8時58分  
第1委員会室  
委員長 若狭 靖(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に若狭靖委員(自民)、副委員長に青木延男委員(民主)を選出。



若狭 靖委員長



青木延男副委員長

- ② 理事に伊達忠一委員(自民)、清水誠一委員(自民)、長沢徹委員(民主)、吉田栄委員(民主)、風早俊男委員(21'道民)、吉田恵悦委員(公明)及び上田茂委員(新道政)を選出。
- ③ 本委員会の運営に必要な事項については、理事会において協議することを決定。

○4月4日(金) 開議 午前9時38分  
散会 午前10時3分  
第1委員会室  
委員長 若狭 靖(自民)

- ① 議席を決定。
- ② 委員会運営について、出席説明員については総務部長、行政管理室長、総務部次長、行政管理室次長、総務課長、人事課長、財政課長、人事課参事及び行政管理室参事とし、必要な場合は、委員会の決定により、他の関係説明員の出席を求めることを決定。
- ③ 質疑の方法等については、通告の形式により一括して行うこと、一問一答形式による場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準ずることを決定。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、議員から発言の申出があった場合、その都度、委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の質疑終了後に発言することを決定。
- ⑤ その他、委員会の運営上必要な事項について

は、理事会において協議の上決定することとし、異議なく決定。

⑥ 審査日程について決定。

⑦ 副知事から、北海道部設置条例の一部を改正する条例案の概要について説明。

⑧ 人事課長から、組織機構改正の概略について説明。

板谷實委員（21'道民）から要望

教育委員会の機構改革との関連性について

○4月9日（水） 開議 午前10時56分

散会 午後4時45分

第1委員会室

委員長 若狭 靖（自民）

① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、

清水 誠一委員（自民）から、

1 機構改正の目的について

- ・改正の基本的な理念
- ・改正の時期
- ・現行組織体制制度の問題点
- ・関係団体等の改正に対する意見と理解の必要性についての見解
- ・職員団体の意見による変更の可能性

2 不祥事について

- ・不正経理問題が解決していない段階での組織改正の考え方
- ・林務部の賃金の不正執行による不正経理問題調査の目途
- ・不正経理にかかわる現行制度の問題点
- ・職員の内部牽制の必要性

3 機構改正の経過

- ・改正の検討会議の開催数及び議事録の有無

4 行政改革について

- ・行政改革の理念を機構改革案に盛り込む考え
- ・国の行政改革プログラムの意見の取入れの有無
- ・簡素効率化という言葉の考え方
- ・職員定数を条例で定める根拠
- ・職員団体との交渉が職員定数削減に必要かどうかの見解
- ・職員団体と交渉が必要であるという勤務条件に影響がある場合の具体的事例

5 関与団体、公益法人の関係について

- ・組織機構改正による関与団体に対する業務の

見直しについての見解

- ・関与団体等に対する監査機関の有無

6 地方分権の推進について

- ・地方分権の動向と機構改正の時期の関係
- ・地方分権への対応のための取組み
- ・市町村と共同で進める政策づくりの取組み方針
- ・地域に対する道の対応方法
- ・許認可事務の見直し方法

7 部の編成について

- ・8部体制とした理由
- ・8部案と7部案の相違点
- ・民間副知事の所管事務についての見解

8 新しい総合計画について

- ・機構改正との整合性

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長及び行政管理室長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○4月10日（木） 開議 午前11時23分

散会 午後5時44分

第1委員会室

委員長 若狭 靖（自民）

① 昨日の清水誠一委員（自民）からの資料要求について、資料の提出があり、資料要求に関し保留された質疑については、取下げる旨の申出があり、これを了承。

② 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、

鯉谷 忠委員（民主）から、

部の編成について

- ・8部案と7部案の理念・思想の相違点
- ・8部案の改正の基本方針
- ・知事の道政改革の決意に対する認識
- ・縦割り行政の弊害の改善策
- ・今回の機構改革と地方分権との関連性
- ・自治省との協議の必要性
- ・機構改革の簡素効率化の視点からの評価
- ・大臣との協議の必要性
- ・総合企画部を代表部とした理由
- ・農政部の局長設置と局間調整の考え方
- ・支庁地域政策課の充実強化の方法
- ・市町村との職員交流の実績及び拡大方法
- ・市町村と共同で進める政策づくりの理念
- ・保留定数のあり方についての見解

- ・支庁機能強化に伴う人員再配置及び支庁別の配置数
- ・道職員の時間外の実態とその適正な配置

等について

加藤 礼一委員（自民）から、

#### 1 機構改正の時期について

- ・提案の時期についての見解
- ・機構改革の時期の判断と現在の状況の認識
- ・今回の機構改革の政策目的と今回提案の理論的根拠
- ・4月中に条例改正された場合の人事異動の時期
- ・異動時期が遅れることによる職員及び家族への影響と異動対象職員数
- ・機構改正に伴う職員及び道民に対する周知期間と周知の方法
- ・保健所等の発令を既に行った理由
- ・新年度に向かう職員の意識
- ・道民が求める意識改革についての見解

#### 2 機構改革・改正の留意点と検討過程について

- ・機構改正を進める上での留意点
- ・検討経過と内容
- ・道政改革民間フォーラムの提言の検討内容とその反映状況及び検討過程と問題点
- ・道政改革推進本部の幹事会・専門部会の開催数及び議論の内容
- ・若手職員座談会に出席した職階・出席者数及び議論の内容
- ・部長会議における議論の状況及び合併される部からの議論の内容
- ・職員参加により再検討を行うことについての見解
- ・縦割り行政の弊害についての認識と具体的な改善への反映方法及び部局間の連携の方法
- ・統合される部局同士の協議状況

#### 3 部の編成について

- ・管理職員数の現行との比較と等級別削減数及び削減による問題点
- ・建設部の平成9年度の予算規模と全庁予算に占める割合及び公共事業シェアの割合
- ・4月1日現在の土木部・住宅都市部の職員数と建設部の職員数対比
- ・建設部に発注権限が集中することについての見解
- ・建設部の事務的な統括機能の所在

- ・建設部の次長・局長の等級格付け
- ・土木と建設の総合調整の考え方
- ・土木と建設の発注方法の統一性についての見解
- ・土木と建設の統合による利点
- ・統合に伴う混乱
- ・技術系職員の士気への影響についての見解

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、行政管理室長及び人事課長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に留し散会。

○4月17日（木） 開議 午前11時3分

散会 午後5時44分

第1委員会室

委員長 若狭 靖（自民）

① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、  
船橋 利実委員（自民）から、

#### 1 不正経理問題について

- ・知事の支持率低下の要因及びその責任の所在
- ・職員の意識改革に対する対策
- ・改善プログラム等の周知徹底の方法及びその理解の確認方法
- ・民間顧問の現地調査で不正不適切経理が隠されていたことに対する現組織の問題点についての認識と新組織での第三者機関への対応及び民間顧問への確認監査結果の伝達時期と今日の事態についての民間顧問への謝罪の状況
- ・民間顧問会議数と副知事・行政管理室長の出席状況及び民間顧問に対する謝罪の内容
- ・不正経理の根絶についての認識
- ・公平性の保てる人事制度に対する見解

#### 2 機構改革について

- ・現行トップマネジメントの意思浸透に力を入れる理由と部長会議等とのかかわり及び新組織における位置付け
- ・簡素で効果的な行財政システムの基本的認識及び現行組織と比較した具体的削減効果の見通し
- ・具体的削減効果を算出できない理由

#### 3 時のアセスメントについて

- ・実施時期についての民間フォーラムと道の認識

#### 4 防災対策について

- ・防災対策を一元化することについての見解と

- 過去の災害の教訓を生かした体制整備の考え方
- ・先進府県の体制を踏まえた組織整備検討の有無
  - ・出先機関の現状を踏まえた防災体制についての考え方
- 5 機構改正と関与団体について
- ・組織機構改正による関与団体に対する業務の見直しについての見解
  - ・組織の簡素・効率化に伴う外部委託の件数・金額及びその内、関与団体等に対する件数・金額
  - ・外部委託における関与団体とその他団体への委託の基準
  - ・関与団体における再委託の状況
  - ・関与団体の業務内容の把握を行うことについての見解
  - ・関与団体のリストラに対する指導の考え方
  - ・関与団体に対する職員派遣の状況及び派遣削減についての見解
  - ・北海道環境財団への職員派遣の考え方及び派遣期間についての見解
  - ・再就職に関する取扱要領の内容
- 6 機構改正の検討経過について
- ・道政改革民間フォーラムの提言の検討内容とその反映状況及び検討過程と問題点
- 7 事務事業の見直しについて
- ・9年度予算編成で廃止とされた事業に対する資料の内容
  - ・事務処理のOA化についての見解
  - ・財務会計システムによる費用対効果及び新たなシステムを導入することによる人件費の削減効果の試算の有無

等について

本間 勲委員（自民）から、

- 1 不正経理の調査について
- ・土木現業所の会社払い賃金に関する調査結果の報告時期
  - ・道有林管理センターに対する調査実施の有無
  - ・会社払い賃金に関する国の補助金調査の状況
  - ・調査終了まで機構改革を行うべきではないとすることについての見解
- 2 機構改正に当たっての手続きについて
- ・知事公約と部の統廃合に対する見解
  - ・民間フォーラムからの部の統廃合に関する具

体的な意見の有無

- ・部の統廃合を思いついた理由
- 3 機構改正と関係団体の意見について
- ・関係団体からの意見聴取の状況と意見の内容
- 4 新長期総合計画について
- ・組織改正との関連
  - ・新たな行政需要に対する推進体制についての見解
  - ・新長期総合計画の策定後に機構改正を行うことについての見解
- 5 職員定数について
- ・職員定数削減の考えの有無
  - ・定数削減の数値目標設定についての見解
- 6 機構改正について
- ・民間・市町村との役割分担の基準
  - ・抜本的な行財政改革への対処
  - ・現機構の問題点及び部を設置する場合の基準
  - ・局と室を置く基本的な考え及びその違い
  - ・部長、次長、局長及び室長の間の権限関係
  - ・内部管理事務の集約化による人員の削減数
  - ・出先機関及び試験研究機関の機構改革・再編整備の考えの有無
  - ・内部管理部門の削減に関する所見
  - ・総務部の位置付けについての見解
  - ・総務部は内部管理部門のみとすることについての見解並びに行政管理室を総合企画部へ移管すること及び国際課・北方領土対策本部を総務部に残した理由
  - ・知事室参事を廃止することについての見解
  - ・総務部の分掌中「その他他部の所管に属しない事項」の内容及び総務部が所管する理由
  - ・総務部総務課の事務分掌中「支庁・東京事務所に関すること」を総合企画部に、「札幌医大に関すること」を保健福祉部に移管することについての見解
  - ・総合企画部についてのトップマネジメントの強化に対する所見
  - ・広報・広聴及び行政情報センターを統合・一元化することについての見解
  - ・政策広報と広報課の扱う広報の相違点
  - ・道政スポークスマン設置の考え方
  - ・科学技術振興課は経済部が所掌し海洋開発部門は水産林務部に移管することについての見解
  - ・本庁の地域振興部門を縮小し政策室と統合す

ることについての見解

- ・経済調査室を総合企画部へ移管した理由
- ・経済部の所掌事項の表現を改めることについての見解
- ・経済部の表現を改めることについての見解
- ・製造業の振興のため関係部門を一元化することについての見解
- ・水産部と林務部を統合する必要性についての見解
- ・道政改革の実施方針の組織機構見直しの視点と水産部・林務部の統合との関係
- ・支庁職員の年齢構成の見直しについての見解
- ・本庁と支庁機構の整合性を図る考えの有無
- ・支庁の権限強化のため予算要求権及び国との折衝を認めることについての見解

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、行政管理室長、行政管理室次長及び人事課長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○4月18日（金） 開議 午前10時58分  
散会 午後4時25分  
第1委員会室  
委員長 若狭 靖（自民）

① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、  
板谷 實委員（21'道民）から、

1 行財政改革について

- ・行政改革理念との関係
- ・国の行政改革プログラムの意見の取入れの有無
- ・道政改革の基本方針事項の確認
- ・財政の健全化を優先することについての見解
- ・行政改革と財政健全化についての見解
- ・現行の予算の考え方を継続した場合の21世紀における道財政の状況
- ・道政改革推進本部での財政健全化のための検討の有無
- ・財政健全化が急務であるとの認識の確認及び財政健全化への取り組み姿勢
- ・道政改革推進本部での機構改正問題以外の検討事項
- ・地域要望を取り入れた予算編成は予算総額の膨張につながるとの考えに対する見解
- ・道政改革推進本部の存続の有無及び現在取り組んでいる検討課題

- ・道政改革の具体的考え方の明示時期
- ・神戸市の行財政改善緊急三ヶ年計画に対する見解

2 機構改革について

- ・定例会途中に提案した理由
- ・支庁の機構改革、人員削減を検討した時期
- ・機構改革の簡素、効率化の具体的事例
- ・出先機関等の統廃合の考え方
- ・関与団体等の統廃合の考え方
- ・平成9年度予算において関与団体に対する補助金が増額となった理由
- ・北海道環境財団の設置の必要性
- ・関与団体縮小等の検討状況
- ・副知事定数見直しについての見解
- ・行政改革の視点から見た平成9年度予算の評価
- ・道政改革推進本部における平成9年度予算検討の有無
- ・財政健全化を優先させることについての見解
- ・道の財政状況についての認識と道債償還に対する対処及び歳出削減を最大の行政改革課題とすることについての見解
- ・他自治体における各種福祉事業の見直しについての見解及び道の取組み
- ・現行の技監・次長の職務上の位置付けと役割
- ・技監職廃止の理由
- ・次長・局長の職務
- ・退職後の国家公務員の不祥事に対する人事院見解の受止め方
- ・民間人による審議会等の設置についての見解及び行政改革への決意

等について

丸岩 公充委員（自民）から、  
部の再編成について

- ・出納局以外に局を設置することの考え方
- ・部の下に局を置く理由
- ・技監を廃止した理由
- ・室長・局長等の次長級を全員次長職とし担当事務を表示することについての見解
- ・参事職の役割と新組織での位置付け
- ・参事・課長補佐・主幹の業務を見直し担当業務を明記することについての見解
- ・総務部・企画振興部を統合することへの見解
- ・支庁の権限強化の内容
- ・土木現業所を支庁に統合するという民間

フォーラム提言を関係部・議会と十分協議することについての見解

- ・不祥事の原因とされる組織改正の有無
- ・内部チェック機能の強化についての見解
- ・支庁内部の改正点
- ・職員削減の具体的方策

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、行政管理室次長、人事課長及び財政課長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○4月21日（月） 開議 午前10時15分

散会 午後5時16分

第1委員会室

委員長 若狭 靖（自民）

① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、

石井 孝一委員（自民）から、  
機構改正に対する諸問題について

- ・行政運営事項についての職員団体との交渉事項・定義
- ・交渉対象外となる事項
- ・交渉事項に係る判例の有無
- ・組織・定数が管理運営事項となるかの見解
- ・職員定数を条例で定める根拠
- ・職員定数の根拠と定める意義
- ・人員の削減計画に対する所見
- ・適正な定員計画の考え方及び他県と比べ道の職員数が多いことについての認識と見解
- ・定数条例改正の際に人事委員会の意見聴取の必要の有無
- ・部の改廃に伴う自治大臣協議についての見解と協議実施の有無及び協議済みの場合の国の意見
- ・今回の機構改正による財政削減の程度
- ・事務事業の委託拡大についての見解
- ・二つの部が統合されるメリット
- ・水産部と林務部を統合する必要性についての見解
- ・ポストの減少による職員の意識
- ・条例定数と予算定数の違いについての見解と平成9年度のそれぞれの人員
- ・職員数の適正化に関する自治省通達についての認識
- ・部の名称についての考え方
- ・少子問題担当課・係の有無と未設置の場合今

後設置することについての考え方

- ・事務事業総点検結果の状況と廃止事業の予算額
- ・道政スポークスマン制度の実施状況
- ・市町村との政策研修の内容及び予算
- ・テレビ会議システムの実施予定内容
- ・関連業務の総合的・一元化の意味
- ・部長職削減による職員意識についての認識
- ・支庁の見直しの必要性についての見解
- ・保健所・土木現業所の支庁統合についての検討状況及び支庁・保健所・土木現業所の連携強化を図る事項
- ・組織改正に当たっての内部議論の内容
- ・部の下に局を置く理由
- ・支庁企画部門強化の考え方
- ・本庁と支庁の連携強化の意味とその内容
- ・機能強化の完結性・総合性の具体的事例
- ・トップマネジメントの強化部分と強化されるものの考え方の根拠
- ・行政法上の告示行為等の職員に対する周知徹底の方法
- ・職員意識改革の必要性についての見解

等について

加藤 和久委員（自民）から、  
機構改正について

- ・昨年度の人事異動についての見解
- ・今回の機構改正のねらい
- ・機構改革の必要性及び目標
- ・OA化の推進状況
- ・本庁又は出先機関の組織機構改革に対する見解
- ・支庁への権限委譲による効率化についての見解
- ・出先機関の分掌課題の先送りが支庁に集中することについての認識
- ・本庁における総括的窓口を設置することに対する見解
- ・支庁地域政策部門の増員についての考え方
- ・新しい総合計画と条例提案との整合性
- ・戦略プロジェクト推進関係部門の改正状況と計画残期間の推進方針
- ・戦略プロジェクトを総括し新しい総合計画に位置付けることについての見解
- ・戦略プロジェクト推進組織の改正理由及びこれまでの推進状況と新しい総合計画での位置



付け

- ・不正防止のための予算措置と人員配置
- ・超過勤務に対する対応
- ・不正に対するチェック機能改善に対する見解
- ・考査監制度に対する認識と今後の扱い
- ・考査監と監査委員とのかかわり
- ・考査監の業務内容
- ・技官職廃止による人事管理上の問題点の有無及び技術吏員採用の考え方
- ・新しい時代における総合出先機関に対する見解
- ・支庁制度の検討スケジュールの明示の必要性についての見解
- ・出先機関見直しの検討経過と今後の体制整備方針
- ・土木現業所と保健所を支庁へ統合する視点及び連携機能強化の内容
- ・土木現業所と保健所の支庁への統合についての民間フォーラム・市長会提言の内容及び本部会議における審議内容
- ・道立病院・試験研究機関等の市町村移管・民間委託についての検討経過及び進捗状況
- ・出先機関見直しの目途と市町村移管・民間委託の具体的項目及び美術館等の移管についての見解

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、行政管理室次長及び人事課長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○ 4月22日（火） 開議 午前10時23分

散会 午後4時13分

第1委員会室

委員長 若狭 靖（自民）

① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、

伊達 忠一委員（自民）から、

機構改革について

- ・知事公約と機構改正の関係及び公約の達成状況
- ・部により企画部門の設置形態が異なる理由及び設置の考え方
- ・水産林務・建設・保健福祉部の企画部門の執行体制
- ・関連業務を一体化することに対する見解
- ・地方自治法の改正を自治大臣に協議し局長制

を設けることについての見解

- ・職名制を含め自治省・大臣と協議を行った後に機構改革を実施することについての見解
- ・新長期計画の実施時期に合わせ機構改革を実施することについての見解
- ・改正案による管理職ポスト数・職員定数の状況及び東京都と比較した機構改革の評価の認識
- ・昭和63年度以降の管理職及び職員配置数が増加している理由
- ・関与団体の計画的な縮小に対する見解
- ・関与団体に対する職員派遣の状況及び派遣削減についての見解
- ・保健所機構改正を本年度に行わない理由及び今後の見通し
- ・道立病院の市町村移管及び土木現業所・耕日出張所定数調整等の検討時期
- ・定員適正化計画の内容及び策定期限
- ・定数条例の改正意向の有無
- ・管理運営事項内容についての見解
- ・職員の勤務条件の定義
- ・組織・職員定数・配置の事項は職員団体との交渉事項から除かれることについての見解
- ・議会論議以前に職員団体等と協議を行ったことについての見解
- ・組織改革問題等を検討段階から職員団体と交渉していることは地方公務員法違反であるとの考えについての見解
- ・勤務条件の変更をきたすとの判断及び変更をきたす具体例
- ・職員団体への提示内容及びそれに対する要求事項と決定内容
- ・土木・住宅都市部の統合の視点
- ・人口400万人以上の都府県で土木と住宅都市行政を統合した部としている数
- ・都市問題に対する認識と今後の対応及び統合により変化に即応できるとした理由
- ・土木・住宅都市部が独立していることによる弊害の具体例
- ・現行体制が地域重視の視点となっていないとの考えの理由
- ・土木・住宅都市部の統合により簡素効率化となる項目別理由
- ・土木・住宅都市部の統合を再考する考えの有無

- ・組織機構の見直し項目に土木・住宅都市部の統合を記述しなかった理由
- ・昭和63年の部再編時の総務部長答弁の考え方との相違点
- ・建設部における組織の肥大化による機能低下の危惧についての見解
- ・建設部における事務的業務の総合調整の考え方
- ・道路・河川等の維持管理の民間委託化を検討することについての見解

等について

小野寺 勇委員（自民）から、  
機構改革に関する諸問題について

- ・副支庁長・次長が考査監を兼務する考えの有無
- ・出納局の実地検査部門を強化し検査結果を周知することが不祥事防止となる考えについての見解
- ・出納員に対する辞令交付の有無と交付により意識改革となるとの考えについての見解
- ・出納局の権限を強化し不祥事防止にあてさせることについての見解
- ・時のアセスメントの対象事業の検討経過
- ・時のアセスメントの検討対象となる条件と公表時期
- ・対象事業公表時期と関係市町村の理解についての見解

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、職員監及び人事課長から答弁。なお、一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○4月23日（水） 開議 午前11時30分  
散会 午後5時23分  
第1委員会室  
委員長 若狭 靖（自民）

- ① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する質疑に入り、引き続き、  
小野寺 勇委員（自民）から、
- ・時のアセスメントに対する地元自治体の理解の範囲の考え方
  - ・時のアセスメントの検討会への学識経験者の参加の有無
  - ・総務部が筆頭部であった理由
  - ・一次産業部門を一部とする案を変更した理由
  - ・行財政システムの具体的変更点

- ・予算編成前の重点施策提示の考え方
- ・町村が持ってくる要望、政策の本庁、支庁の流れ及び新長期計画との関連
- ・副知事と部長の業務区分についての見解
- ・副知事職の必要性
- ・兼務職に対する見解
- ・簡素効率化の意味
- ・幹部職員の登用についての考え方
- ・幹部登用試験の対象者及び試験の内容
- ・能力評定の内容
- ・管理職以外能力評定の実施の有無
- ・従来勤務評定は行っていないという見解と個人調書の関係

等について

久田 恭弘委員（自民）から、  
機構改革について

- ・分かりやすい道政への改善点及び道民ニーズに的確に答えていない事項についての認識
- ・質の高い行政サービスの考え方
- ・信頼される責任体制の確立に対する見解
- ・部の統合による組織機構の肥大化によって業務に支障がでることに対する見解
- ・監査体制のあり方及び監査委員事務局職員数を明確にすることについての見解
- ・国の地方自治体に対する監査体制の検討内容の受止め方
- ・外部監査についての見解
- ・外部監査体制を早急に整備・導入する必要性についての見解
- ・管理部門・発注5部の事業実施部門についての権限委譲の検討内容
- ・機構改正において税務部門に対する考慮内容
- ・指定金融機関のあり方についての見解
- ・用地交渉部門への人的強化に対する考慮内容
- ・支庁企画部門へ技術的指導を行う職員を配置することについての検討の有無
- ・支庁・土木現業所の統合についての民間フォーラム提言中土木現業所の危機管理に関する議論の有無
- ・出先機関の現状を踏まえた防災体制についての見解
- ・本庁・支庁の危機管理の連携の考え方
- ・新長期計画を政策の柱として機構改正を行うと明示できない理由
- ・新長期計画を検討中に機構改正を行う意図

- ・政務法務を担う体制整備についての検討の有無
- ・支庁と保健所の統合の考え方
- ・局長の予算要求権限に対する見解
- ・関係団体の組織機構改正に対する意見
- ・職員定数の目標値の早期決定に対する見解
- ・行財政改革審議のための機関設置についての意見

等について

中崎 昭一委員（自民）から、  
機構改正と不祥事の再発防止について

- ・道民が道庁に今一番求めている事項についての認識
- ・考査監制度の内容
- ・考査監制度以外の内部管理体制の有無
- ・綱紀肅正・賞罰・職場の自浄能力等を目的とする監察制度を作ることについての見解
- ・勤務評定の実施及び特別昇給制度・賞罰委員会のあり方を検討することについての見解
- ・不祥事の再発の可能性についての見解

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長、企画振興部長、行政管理室長、総務部次長及び人事課長から答弁。一部質問については、総括質疑に保留し散会。

○5月8日（木） 開議 午後3時15分  
閉会 午後7時4分  
第1委員会室  
委員長 若狭 靖（自民）

- ① 北海道部設置条例の一部を改正する条例案に関する件を議題とし、知事に対する総括質疑に入り、
- 清水 誠一委員（自民）から、  
機構改革に関する諸問題について
- ・機構改革案が提案された时期的な根拠
  - ・機構改正に対する職員意識の浸透状況
  - ・考査監制度の体制及び効果
  - ・本庁の出納局や支庁の会計課の財務指導検査の充実
  - ・不祥事の再発防止のための内部牽制機能の強化
  - ・勤務評定及び賞罰委員会の機能拡充に対する見解
  - ・局長制度を提案した理由
  - ・技監職の一部廃止の理由
  - ・民間副知事の所管事務の確認及び圏域副知事

制度に対する見解

- ・不正経理問題を所管している総務部が代表部ではなくなった理由

等について

伊達 忠一委員（自民）から、  
機構改革に関する諸問題について

- ・道政の改革に対する知事の決意
- ・簡素で効率的な行財政システムの基本的な認識と具体的な削減効果
- ・機構の性急な改正に関する見解
- ・関係団体の理解
- ・職員団体との事前の協議・決定についての考え方
- ・管理運営事項を職員団体と事前に交渉している事に対する見解
- ・事務事業の民間への委託の拡大
- ・関与団体に対する職員の派遣数の削減、出先機関の見直し及び道路の維持管理業務の民間委託の検討
- ・職員定数見直しの検討状況
- ・定数削減計画案の提出時期
- ・機構改革の効果

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。

- ② 理事会で意見調整の結果、一部修正で意見が一致し、清水誠一委員（自民）外4人から修正動議の提出があり、これを諮って動議成立。
- ③ 修正案の説明の後、これを諮って修正案のとり決定。
- ④ 伊達忠一委員（自民）から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を諮って異議なく可決することを決定。
- ⑤ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、あいさつがあって閉会。

# 資 料

## 議会運営及び常任・特別委員名簿

(平成9年6月25日現在)

◎＝委員長 ○＝副委員長 △＝理事 ▲＝オブザーバー

| ・議会運営委員 (14人)      |                   |                  |  |
|--------------------|-------------------|------------------|--|
| △加藤 礼一(自民) (文 教)   | 政氏 雅(公明) (農 政)    | △伊藤 条一(自民) (総 務) |  |
| 竹内 英順(自民) (農 政)    | 沢岡 信広(民主) (総 務)   | 高橋 定敏(自民) (保健福祉) |  |
| 丸岩 公充(自民) (経 済)    | △西田 昭紘(民主) (水産林務) | ◎和田 敬友(自民) (文 教) |  |
| 水城 義幸(自民) (保健福祉)   | △岡本 修(民主) (水産林務)  | ○吉田 栄(民主) (文 教)  |  |
| △村井 宣夫(21'道民)(農 政) | △上田 茂(新道政)(文 教)   | (委員外議員)          |  |
|                    |                   | 萩原 信宏(共産) (経 済)  |  |

| ・総務委員(14人)    | ・環境生活委員(12人) | ・保健福祉委員(13人) | ・経済委員(14人)    |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| △船橋 利実(自 民)   | △蝦名 清悦(民 主)  | 野村 義次(自 民)   | ○丸岩 公充(自 民)   |
| △沢岡 信広(民 主)   | △鎌田 公浩(自 民)  | △水城 義幸(自 民)  | △滝口 信喜(民 主)   |
| ○段坂 繁美(民 主)   | ○本間 勲(自 民)   | △山田驕太郎(新道政)  | ▲萩原 信宏(共 産)   |
| 伊藤 条一(自 民)    | 小原 葉子(民 主)   | △林 大記(民 主)   | 高橋由紀雄(民 主)    |
| 加藤 和久(自 民)    | 清水 誠一(自 民)   | 山口 恵聖(民 主)   | △森 成之(公 明)    |
| ◎野呂 善市(自 民)   | 神戸 典臣(自 民)   | 高橋 定敏(自 民)   | △川村 正(自 民)    |
| △水野 重男(21'道民) | 勝木 省三(自 民)   | ○釣部 勲(自 民)   | 高橋 一史(自 民)    |
| △木村 澄男(新道政)   | 鯉谷 忠(民 主)    | 伊達 忠一(自 民)   | △風早 俊男(21'道民) |
| 大内 良一(民 主)    | ◎長沢 徹(民 主)   | ◎吉田 恵悦(公 明)  | 井野 厚(民 主)     |
| 青木 延男(民 主)    | ▲渋谷 澄夫(新社会)  | 佐々木隆博(民 主)   | ◎柏倉 勝雄(民 主)   |
| △伊藤 武一(公 明)   | 小田原要四蔵(民 主)  | 吉野 之雄(民 主)   | △石川十四夫(新道政)   |
| 湯佐 利夫(自 民)    | 若狭 靖(自 民)    | 輪島 幸雄(民 主)   | 山口 真人(自 民)    |
| 中川 義雄(自 民)    |              | 藤井 猛(自 民)    | 川口 常人(自 民)    |
| 中崎 昭一(自 民)    |              |              | 岩本 允(自 民)     |

| ・農政委員(14人)    | ・水産林務委員(13人)  | ・建設委員(14人)   | ・文教委員(14人)    |
|---------------|---------------|--------------|---------------|
| △岡田 俊之(民 主)   | △伊東 良孝(自 民)   | △荒島 仁(公 明)   | △佐藤 英道(公 明)   |
| △瀬能 晃(新道政)    | △西田 昭紘(民 主)   | 佐藤 寿雄(自 民)   | △大谷 和則(21'道民) |
| △工藤 敏郎(自 民)   | 岡本 修(民 主)     | 見延 順章(自 民)   | 加藤 礼一(自 民)    |
| 竹内 英順(自 民)    | ○川尻 秀之(自 民)   | △前田 康吉(新道政)  | 喜多 龍一(自 民)    |
| △村井 宣夫(21'道民) | 永井 利幸(自 民)    | △星野 高志(民 主)  | △原田 裕(自 民)    |
| △政氏 雅(公 明)    | 酒井 芳秀(自 民)    | 伊藤 政信(民 主)   | ○上田 茂(新道政)    |
| ○平出 陽子(民 主)   | ◎小池 昌(民 主)    | ○板谷 實(21'道民) | ◎山口幸太郎(自 民)   |
| 米沢 一喜(自 民)    | △大橋 晃(共 産)    | △山崎 正隆(自 民)  | 和田 敬友(自 民)    |
| ◎石井 孝一(自 民)   | ▲橋 浪蔵(改 革)    | ◎高橋 文明(自 民)  | △吉田 栄(民 主)    |
| 佐藤 時雄(自 民)    | 大島 一郎(民 主)    | 森 敏捷(民 主)    | 鈴木 泰行(民 主)    |
| 小野寺 勇(自 民)    | △西村 慎一(21'道民) | 舟山 広治(民 主)   | 西本 美嗣(民 主)    |
| 土田 弘(民 主)     | 中川 隆之(自 民)    | 畠山 博(自 民)    | 大平 盛雄(民 主)    |
| 神本 三也(民 主)    | 新沼 浩(自 民)     | 久田 恭弘(自 民)   | 桜井 外治(自 民)    |
| 吉田 政一(自 民)    |               | 高木 繁光(自 民)   | 平野 明彦(自 民)    |

・総合開発調査特別委員(23人)

|                 |                  |                     |
|-----------------|------------------|---------------------|
| △瀬能 晃(新道政)(農 政) | △川尻 秀之(自民)(水産林務) | 大平 盛雄(民主)(文 教)      |
| △荒島 仁(公明)(建 設)  | 清水 誠一(自民)(環境生活)  | 柏倉 勝雄(民主)(経 済)      |
| △竹内 英順(自民)(農 政) | ◎佐藤 時雄(自民)(農 政)  | △西村 慎一(21'道民)(水産林務) |
| 原田 裕(自民)(文 教)   | 和田 敬友(自民)(文 教)   | 湯佐 利夫(自民)(総 務)      |
| △沢岡 信広(民主)(総 務) | 鯉谷 忠(民主)(環境生活)   | 久田 恭弘(自民)(建 設)      |
| ○伊藤 政信(民主)(建 設) | 佐々木隆博(民主)(保健福祉)  | 川口 常人(自民)(経 済)      |
| △段坂 繁美(民主)(総 務) | 西本 美嗣(民主)(文 教)   | 新沼 浩(自民)(水産林務)      |
| 石井 孝一(自民)(農 政)  | ▲大橋 晃(共産)(水産林務)  |                     |

・産炭地域振興対策特別委員(13人)

|                    |                  |                  |
|--------------------|------------------|------------------|
| ○伊東 良孝(自民)(水産林務)   | 伊藤 条一(自民)(総 務)   | 長沢 徹(民主)(環境生活)   |
| △丸岩 公充(自民)(経 済)    | 釣部 勲(自民)(保健福祉)   | 大島 一郎(民主)(水産林務)  |
| △村井 宣夫(21'道民)(農 政) | 野呂 善市(自民)(総 務)   | ◎石川十四夫(新道政)(経 済) |
| △西田 昭紘(民主)(水産林務)   | 小野寺 勇(自民)(農 政)   |                  |
| 高橋由紀雄(民主)(経 済)     | △吉田 恵悦(公明)(保健福祉) |                  |

・北方領土対策特別委員(13人)

|                    |                  |                 |
|--------------------|------------------|-----------------|
| △蝦名 清悦(民主)(環境生活)   | △上田 茂(新道政)(文 教)  | 舟山 広治(民主)(建 設)  |
| △大谷 和則(21'道民)(文 教) | ◎高橋 定敏(自民)(保健福祉) | △伊藤 武一(公明)(総 務) |
| △喜多 龍一(自民)(文 教)    | 伊達 忠一(自民)(保健福祉)  | 若狭 靖(自民)(環境生活)  |
| 船橋 利実(自民)(総 務)     | 勝木 省三(自民)(環境生活)  |                 |
| ○小原 葉子(民主)(環境生活)   | 小池 昌(民主)(水産林務)   |                 |

・エネルギー問題調査特別委員(17人)

|                 |                    |                  |
|-----------------|--------------------|------------------|
| △加藤 礼一(自民)(文 教) | 山口 恵聖(民主)(保健福祉)    | 小田原要四蔵(民主)(環境生活) |
| 鎌田 公浩(自民)(環境生活) | △山口幸太郎(自民)(文 教)    | 吉野 之雄(民主)(保健福祉)  |
| 水城 義幸(自民)(保健福祉) | 高橋 文明(自民)(建 設)     | ◎畠山 博(自民)(建 設)   |
| △政氏 雅(公明)(農 政)  | ○風早 俊男(21'道民)(経 済) | 中川 隆之(自民)(水産林務)  |
| △星野 高志(民主)(建 設) | △木村 澄男(新道政)(総 務)   | 高木 繁光(自民)(建 設)   |
| △岡本 修(民主)(水産林務) | 鈴木 泰行(民主)(文 教)     |                  |

・交通安全対策特別委員(15人)

|                   |                   |                 |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| △佐藤 英道(公明)(文 教)   | △林 大記(民主)(保健福祉)   | △吉田 栄(民主)(文 教)  |
| 工藤 敏郎(自民)(農 政)    | △板谷 實(21'道民)(建 設) | 土田 弘(民主)(農 政)   |
| △野村 義次(自民)(保健福祉)  | △米沢 一喜(自民)(農 政)   | ◎森 敏捷(民主)(建 設)  |
| ○見延 順章(自民)(建 設)   | 山崎 正隆(自民)(建 設)    | 輪島 幸雄(民主)(保健福祉) |
| △山田驍太郎(新道政)(保健福祉) | 高橋 一史(自民)(経 済)    | 桜井 外治(自民)(文 教)  |

地方分権・

・行政改革問題調査特別委員(19人)

|                  |                   |                |
|------------------|-------------------|----------------|
| △岡田 俊之(民主)(農 政)  | △森 成之(公明)(経 済)    | ◎井野 厚(民主)(経 済) |
| △佐藤 寿雄(自民)(建 設)  | ○加藤 和久(自民)(総 務)   | 大内 良一(民主)(総 務) |
| 本間 勲(自民)(環境生活)   | △川村 正(自民)(経 済)    | 青木 延男(民主)(総 務) |
| △前田 康吉(新道政)(建 設) | 神戸 典臣(自民)(環境生活)   | 中川 義雄(自民)(総 務) |
| △滝口 信喜(民主)(経 済)  | 永井 利幸(自民)(水産林務)   | 藤井 猛(自民)(保健福祉) |
| △萩原 信宏(共産)(経 済)  | 酒井 芳秀(自民)(水産林務)   |                |
| 平出 陽子(民主)(農 政)   | 水野 重男(21'道民)(総 務) |                |



## 5 月 の メ モ

- 8 日 ○健保法改正案が衆院通過 高齢者やサラリーマンの患者負担増を柱とする健康保険等改正案は自民、社民、さきがけ与党3党が原案を修正し、衆院本会議で3党や太陽党などの賛成多数で可決、参院に送られた。修正協議に加わった民主党は修正案にいったんは合意したものの、最終段階で反対に転じた。
- アイヌ新法が成立 アイヌ民族の文化振興と伝統などに対する知識の普及を主な目的とするアイヌ新法が衆院本会議で全会一致で可決、成立した。民族側が求めていた先住性については「歴史的事実」と付帯決議にとどまった。
- 和牛商法に初の強制捜査 高配当と元本返還をうたい牛のオーナーを募集する「和牛預託商法」で、埼玉、群馬両県警では出資法違反（預かり金の禁止）の疑いで、長野県軽井沢町の「千紫牧場」と群馬県群馬町の「はるな共済牧場」の事務所など計27カ所を家宅捜査した。同商法の摘発は初めて。
- 14日 ○北海道国際航空が事業計画を発表 北海道国際航空（本社・札幌）は臨時株主総会と役員会を開き、中村晃氏の社長就任を正式に決めた。来年4月25日から新千歳―羽田線を1日3往復、同11月には新千歳―伊丹線を1日2往復就航させる計画。また中村社長は2001年にも新千歳とアジアを結ぶ直行便の運航を検討していることを明らかにした。
- 15日 ○自民が財政構造改革案 自民党の行革推進本部は公共投資基本計画の3年延長やウルグアイ・ラウンド農業関連対策費実施期間の2年延長、中期防衛力整備計画の見直し前倒しなどを盛り込んだ財政構造改革案を決定した。
- 16日 ◎第1回臨時道議会（1日間）
- 20日 ○杏雲堂製薬が破産宣告受け倒産 医薬ドリンク剤「キンカップ」の製造販売で知られる杏雲堂製薬（本社・札幌）が札幌地裁に自己破産を申請、破産宣告を受け

倒産した。負債額は445億6000万円で、道内史上3番目の規模。

- 22日 ○第一勧銀本店捜索 野村証券による総会屋への利益供与事件で東京地検特捜部は、商法違反容疑の関連先として、第一勧業銀行本店や関連ノンバンク、歴代総務部長宅を捜索した。第一勧銀はノンバンクと合わせ、これまで小池容疑者側に約300億円を融資。同容疑者と一勧との密接な関係も詳しく調べる。
- 介護保健法案が衆院通過 公的保険方式による介護サービスの2000年度導入に向けた介護保健法案が、衆院本会議で自民、社民、さきがけ3党などの賛成多数で可決され、参院に送られた。
- 23日 ○道の情報公開検討委「道警も対象」提言へ 堀達也知事の諮問機関である情報公開制度検討委の第3回小委員会が、情報公開の対象機関に公安委員会を加え、道警の情報も公開するよう提言に盛り込むことで合意した。
- 25日 ○仏総選挙で左翼躍進 仏下院（定数577）選挙の第1回投票で、社会・共産の左翼連合が得票率で保守・中道連合を上回り、決選投票で左翼勝利の可能性もある波乱の結果になった。左翼連合の躍進によって仏の欧州通貨統合への対応が後退するのは必至。
- 27日 ○バンダイ、セガ合併解消 セガ・エンタープライゼスとバンダイが、10月に予定していた合併計画を解消すると発表した。バンダイ社内で反対意見が続出したため。山科誠バンダイ社長は29日、辞任を表明。後任には茂木隆氏が就任する。

## 6 月 の メ モ

- 2 日 ○自民党道連が定期大会 自民党道連（佐藤孝行会長）は第53回定期大会を札幌市内で開き、続投の佐藤孝行会長と新幹事長の平野明彦道議らによる新執行部を選出した。大会では、佐藤会長続投、参院選候補選考過程をめぐり、執行部批判が相次いだ。
- 3 日 ○財政再建へ数値目標 政府と自社さきがけ3党の財政構造改革会議は、歳出削減の数値目標を決定した。1998年度予算は公共事業7%削減、社会保障費5000億円圧縮などで前年度比2000億円減。中期防衛力整備計画は9200億円を削減し、ウルグアイ・ラウンド農業対策は計画を2年延長する。
- 6 日 ○NPO 法案が衆院通過 災害時の救助や国際協力など非営利活動の団体に法人格を与える市民活動促進法案（NPO 法案）が、衆院本会議で賛成多数で可決された。
- 9 日 ○環境アセス法成立 公共事業による環境への影響を事前に調査して事業に反映させる環境影響評価法が参院本会議で可決、成立した。対象は発電所や大規模林道など14事業。
- 12 日 ○万博日本開催決まる 2005年万国博覧会の開催国を決める博覧会国際事務局総会がモナコで開かれ、81カ所による投票の結果、日本（愛知県）が大差でカナダを破り、開催国に決まった。
- 13 日 ○カプト手形事件で無罪判決 元子会社エイベックスの手形5枚（額面総額64億円）を偽造、振り出したとして有価証券偽造・同行使の罪に問われたカプトデコム会長、佐藤茂被告（51）に対し、札幌地裁は無罪を言い渡した。バブル経済崩壊で、拓銀とカプトとの対立を背景にした道内最大の経済事件は、拓銀に厳しい判決内容となった。
- 16 日 ○拓銀と英パークレイズが業務提携へ 拓銀とパークレイズ銀行ピーエルシー（本社・ロンドン）が、業務提携の協議に入ることと合意したと発表した。金融商品の開発や販売、拓銀不良債権の証券化などの分野での提携を目指す。
- 財政再建法案の骨子 政府と与党3党による財政構造改革会議は、2003年度までに国と地方合計の財政赤字を国内総生産（GNP）比3%以下に抑制することを目標とした「財政構造改革のための法律案」（仮称）の骨子をまとめた。
- 17 日 ◎第2回定例道議会開会
- 臓器移植法が成立 臓器提供の場合に限って脳死を「人の死」と認め、脳死の人から心臓や肝臓などの摘出と移植を可能にする臓器移植法が成立した。
- 18 日 ○細川元首相が新進離党 細川護熙元首相は、新進党にとどまって幅広い政治勢力は結集できないとして同党を離党した。
- 19 日 ○丸井今井が札幌市内2店目の百貨店を開業へ 丸井今井（本社・札幌）は、札幌市西区宮の沢1の1で小規模百貨店「手稲東店」を1999年3月をめどに開業することを明らかにした。昨年10月開業の釧路店に次ぐ同社8店目の百貨店で、札幌では本店に次いで2店目。
- 22 日 ○デンバー・サミット閉幕 第23回主要国首脳会議（デンバー・サミット）は参加8カ国（G7）の「共同宣言」を採択、議長のコリン・クリントン米大統領が発表して閉幕した。首脳会談で最後まで難航した地球温暖化対策は、二酸化炭素の具体的な削減目標を先送りした。
- 30 日 ○知事の年収、減額響き807万円 堀達也知事と道議会議員の昨年1年間の所得と資産補充が公開された。知事は道庁不正問題に伴う処分と昨年1年間を通じ給料の60%を減額されたため、公開された全国39知事で最も少ない807万円にとどまった。



## 7 月 の メ モ

- 1 日 ○香港が中国に返還 英国のアジア最後の植民地だった香港が中国に返還された。今後50年間、社会主義の中に資本主義地域が共存する「一国二制度」の下で、香港は高度な自治権を持つ特別行政区となる。
- 4 日 ○第2回定例道議会閉会
- 6 日 ○都議選で共産倍増 東京都議選（定数127）が投開票され、共産党は前回より倍増の26人が当選、第2党に躍進した。自民党は54人と目標の50台に寄せ復調。公明は24人全員当選、民主は低迷、新進、社民等は惨敗した。投票率は40.80%。
- 8 日 ○奨励的補助金は廃止 地方分権推進委員会は①国の政策誘導のための奨励的補助金の廃止・削減②市町村合併の推進などを盛り込んだ第2次勧告を橋本龍太郎首相に提出した。
- 10日 ○土石流で21人死亡 鹿児島県出水市の針原川で土石流が発生、21人の死者を出した。上流の山で起きた大規模な崩落が土石流となり、砂防ダムを乗り越えて集落を襲った。降り続いた大雨で地盤が緩んでいたのが原因とみられる。
- 14日 ○合併期日の延期も 道銀の藤田恒郎頭取が記者会見し、合併準備を進める拓銀との間で、相互の不良債権を共同監査することを明らかにした。同頭取は9月末までに不良債権についての共通認識ができれば、来年4月の合併期日の先送りもあおり得ることを示唆した。
- 道が北海道住宅供給公社に立ち入り検査 詐欺事件の土壌となった同公社の分譲マンション値引き問題に関連し、道建設部の調査プロジェクトチームが事件発覚後、初めての検査に入った。マンションの販売状況、契約内容などについて事情を聞いた。
- 15日 ○新進5議員が離党 新進党の北橋健治、鴨下一郎、伊藤達也、上田清司の4衆院議員と、水島裕参院議員が離党届けを提出。同党は17日、水島氏を除く4氏と先に提出した愛知和男氏の届けを受理した。
- バス事故で邦人8人死亡 スペインのトレンド市郊外的高速道路で、日本人客を乗せた小型観光バスとワゴン車が正面衝突、日本人8人を含む10人が死亡、4人が重軽傷を負った。一行はマドリードから、中部の城郭都市トレドに向かう途中だった。
- 24日 ○秋山愛生館が来春スズケンと合併 医薬品卸の道内最大の大手で創業106年のしにせ、秋山愛生館（本社・札幌）は、全国最大手のスズケン（本社・名古屋）と来年4月に合併すると発表。存続会社はスズケン。秋山孝二社長は代表取締役副社長に就任する。
- 25日 ○札幌市が欠勤専従問題で特別職ら16人を処分 札幌市の職員5人が、長期間に渡って欠勤し、事実上労働組合の専従となっていた問題で、同市は助役や特別職4人を厳重注意、監督する立場にあった歴代の職員部長ら幹部職員7人と欠勤していた職員5人を訓告処分とした。
- 28日 ○「五番館西武」が「札幌西武」に 西武百貨店（本社・東京）が札幌の「五番館西武」を8月26日から「札幌西武」に改称することなどを盛り込んだ全面改装計画を発表。道民に親しまれた老舗（しにせ）百貨店の名がまた一つ消える。
- 29日 ○時効寸前に逮捕 松山市内のマンションで同僚のホステスを殺害したとして、愛媛県警が殺人容疑で指名手配していた元ホステス福田和子容疑者（49）が、福井市内で逮捕された。顔を整形し、偽名を使い、逃亡約15年。8月19日が時効だった。警察協会や美容整形病院が有力情報に懸賞金を出すと発表していた。

北海道議会時報 第49巻第2号  
平成9年10月2日

編集 北海道議会事務局調査課  
発行 北海道議会事務局